



プレゼンテーション資料
2022年3月期 第2四半期

アイフル株式会社

2021年11月



目次

I 事業戦略・環境	…	3	III ライフカード決算概要	…	34
IT金融グループに向けた取り組み	…	4	ライフカードの戦略	…	35
経営指標	…	8	決算概要	…	36
トピックス	…	9	月次買上実績（ショッピング）	…	37
ESG・SDGs トピックス	…	11	割賦売掛金残高	…	38
経営環境	…	12	カード発行状況	…	39
無担保ローン市場	…	13			
II 決算概要	…	14	IV グループ各社の決算概要	…	40
業績ハイライト（連結）	…	15	決算概要【アイフルビジネスファイナンス】	…	41
主要数値・通期計画（連結）	…	17	決算概要【AGメディカル】	…	42
連結決算概要	…	18	決算概要【アイフルギャランティー】	…	43
事業ポートフォリオ	…	19	決算概要【AGミライバライ】	…	44
ローン事業	…	20	V 参考資料	…	45
不良債権	…	24	営業収益・営業費用【連結】	…	46
クレジット事業	…	26	営業費用・利益【連結】	…	47
信用保証事業	…	28	決算概要【アイフル単体】	…	48
海外事業	…	29	営業実績【アイフル単体】	…	49
資金調達	…	30	ESG・SDGs 主な取り組み一覧	…	50
利息返還	…	31	アイフルグループの事業	…	51



I 事業戦略・環境

経営テーマ

環境変化に応じた組織・制度の変革とデジタル技術の活用により、
IT金融グループとして成長を遂げる

安全性・収益性・成長性・効率性のバランスを重視した経営戦略

スピードの向上
コスト削減

専門人材採用・育成による内製化

- ・デジタル化推進
- ・データ分析
- ・デザイン

IT化にむけた人材戦略



デジタル化推進

業務の効率化・利便性向上によりコスト削減

IT金融グループに必要な3つのスキル



デザイン

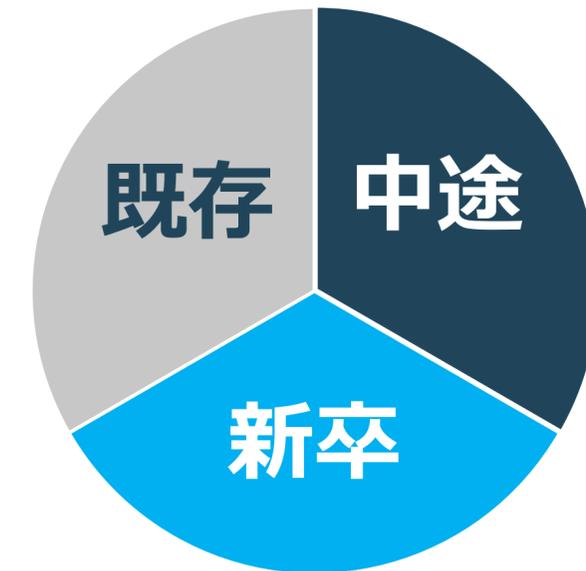
デザインの内製化を推進しコスト削減



データ分析

データ分析力を高めることでお客様のニーズや動向を把握し収益力を向上

専門人材の3つの層



増員方法

中途社員

- 専門知識のあるプロを積極採用

既存社員

- 社内で素養のある社員を集めてトレーニング

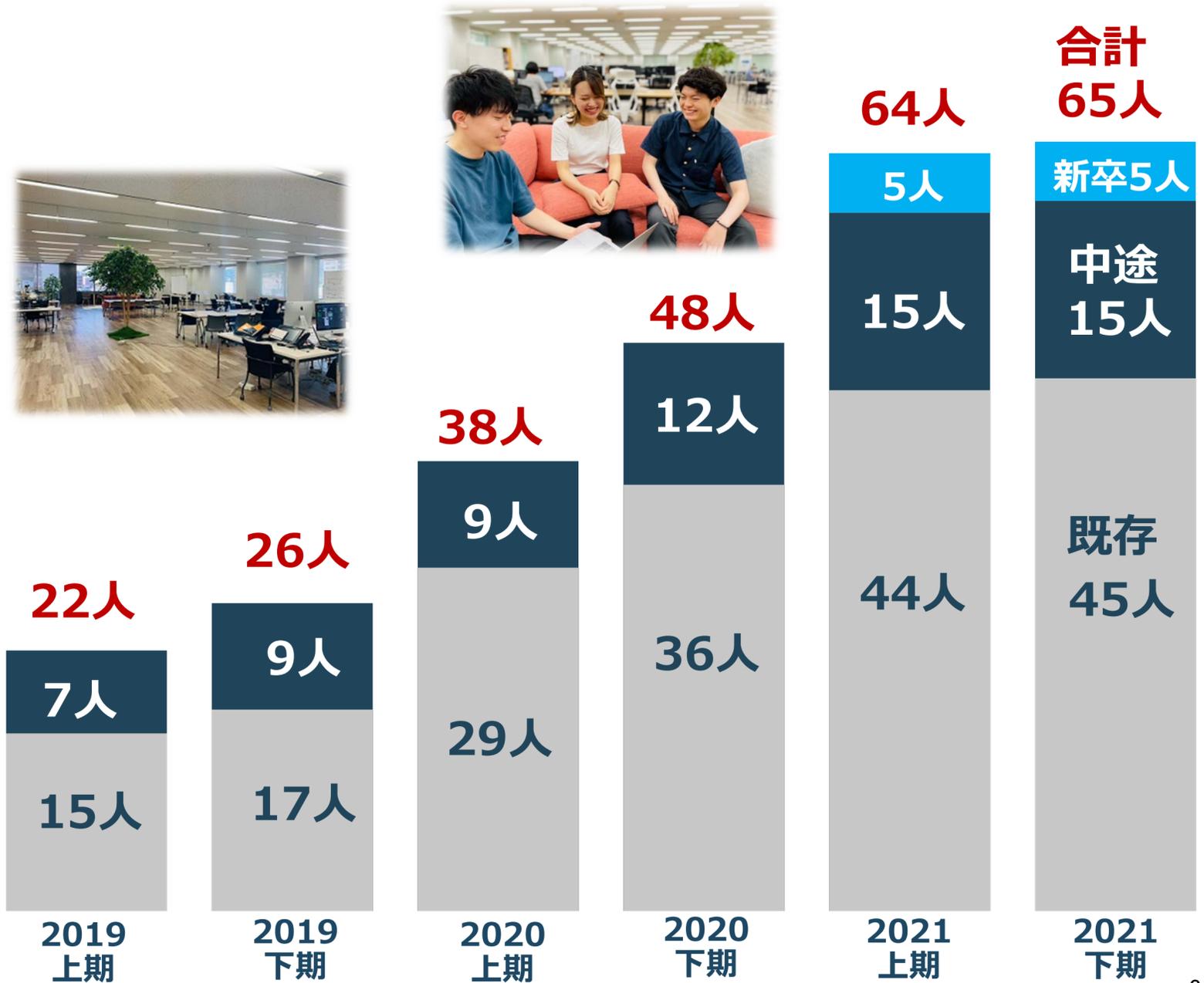
新卒社員

- ITやデザイン関連のバックグラウンドを持つ学生を採用

IT金融グループに向けた取り組み

中途採用を強化しつつ、既存社員への投資・育成も実施し、将来的には新卒社員も積極的に採用していく

IT、データ分析、デザイン関連の専門知識を持つ社員が順調に増加



各専門人材の採用および育成強化による効果・実績

デジタル推進

1人あたりの月の費用

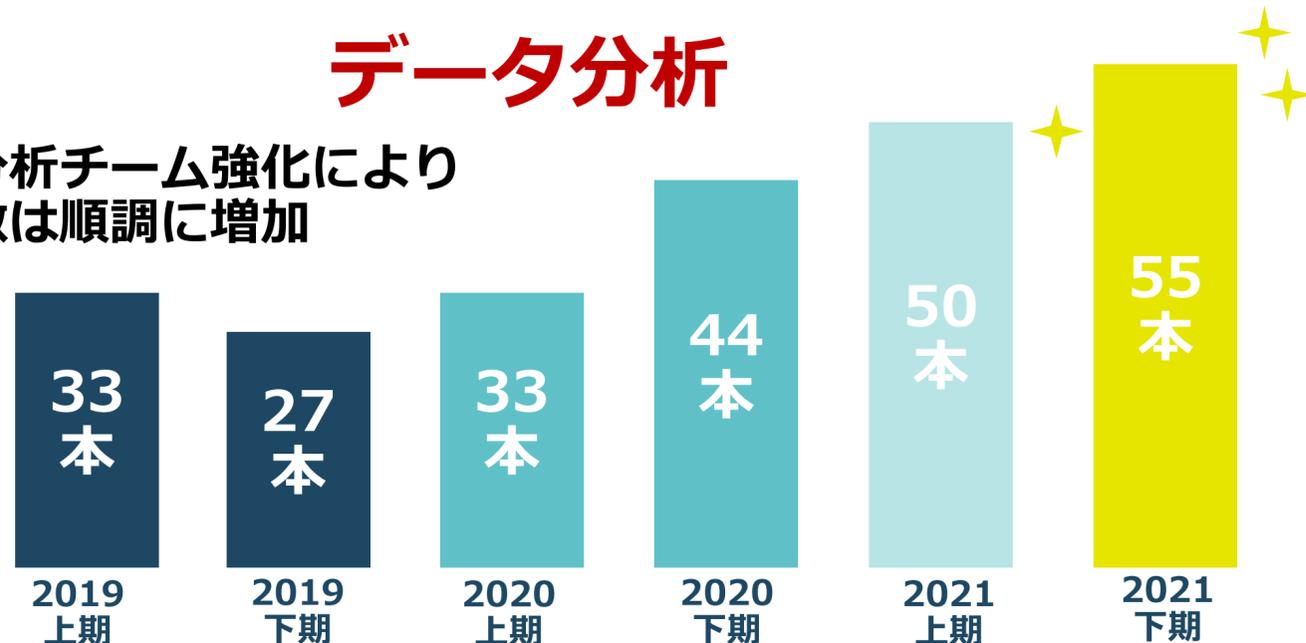
デジタル化によって不要なコストを削減



56万円削減

データ分析

データ分析チーム強化により
分析本数は順調に増加



デザイン

今期内製化実績：新理念体系の策定に伴うデザインの一斉、アプリの改修（随時実施）、クレジットカード券面のデザイン等



草津コンタクトセンターにてVMV（ビジョン・ミッション・バリュー）の新しいデザインを掲示

ユーザーより高評価を獲得したアプリ



クレジットカード券面の多様なデザイン





アイフルグループにおける安全性・収益性・成長性の指標

安全性

20%
自己資本比率

17.3%
2021/9

ROE 10%超	収益性	ROA 2%超
13.5% 2021/9		2.3% 2021/9

成長性

営業アセット
年間10%成長

8,442億円 前年同期比
2021/9 **+7.1%**



「プライム市場」適合

2021年7月9日、株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認。



外部格付け

株式会社格付投資情報センター（R & I）の信用格付けが2ノッチの格上げとなる（10月13日付）。

	変更前	変更後
発行体格付	BB	BBB-
格付けの方向性	ポジティブ	安定的
短期格付	b	a-2

広告戦略

「そこに愛はあるんかるた」「本音のアイちゃん」などのユニークかつデータを積極活用した効率的な広告宣伝により、いちばん最初に想起されるブランドを目指す。今期「そこに愛はあるんか？」でおなじみのアイフルのCMが金融業のCM好感度No.1に選出される。（CM総合研究所調べ）





トピックス

クラウドファンディング事業開始

新会社「AGクラウドファンディング株式会社」を設立し、2021年9月3日より事業を開始。

当社グループで培った与信のノウハウを活かし、貸付型クラウドファンディング事業（ソーシャルレンディング）に取り組む。

AG Crowd Fund!ng

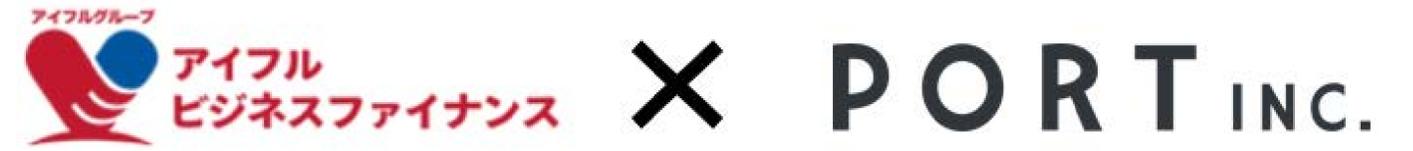
診療報酬等担保ローン事業開始

AGメディカルが診療報酬等担保ローン事業を中心に、ヘルスケア業界を専門とした金融サービス事業を開始。

AG MEDICAL

業務提携

アイフルビジネスファイナンスがポート株式会社と包括的な業務提携契約を締結。この契約により、アライアンスメディアの開発及び相互送客を開始。



後払い決済

AGミライバライにて新サービス「後払いチャージサービス」をリリース。

2021年7月に株式会社 Kyash、8月に株式会社 スマートバンクと提携を開始。





ESG・SDGs トピックス

業務効率化

2019年4月よりアイフルグループ全体へのRPA展開を開始し、業務効率化を通じて残業時間およびエネルギー使用量の削減を図る。

期間	削減見込時間
2019/4～2020/3	11,617時間
2020/4～2021/3	11,209時間
2021/4～2021/9	7,062時間
累計削減見込時間	29,888時間



E

従業員エンゲージメント向上

社内表彰制度や改善提案制度を設け、従業員エンゲージメント向上を図る。また、AG Style（社内報）を定期的に発行し、情報や活動の共有を積極的に実施。



WEB版社内報



冊子版社内報

S

タイ王国における新型コロナ対策支援

AIRA&AIFULはタイ医療機器開発財団に、医療機器開発に役立てていただくため寄付を実施。



コンプライアンス教育

各種社内規程や法令への知識を深めるため、毎年全社員（派遣・契約社員含む）に向けてコンプライアンスデー勉強会を開催し、今期上期は3回実施。

主な社内規程

- ・ 反社会的勢力による被害防止規程
- ・ 個人情報保護規程
- ・ 広告取扱規程
- ・ インサイダー取引防止規程



G

For Colorful Life.

自分の色が輝く社会に。



国内マクロ環境（2021年9月末時点）

- ・ 2021年4～6月の実質GDP成長率は前期比年率1.9%、前期比0.5%（内閣府 統計データ）
- ・ 7月の完全失業率は2.8%（前月差-0.1pt）、8月は2.8%（前月差0pt）と新型コロナウイルスの影響により高い状態が続く。ワクチン接種が進み、経済の回復が見受けられるが飲食や宿泊などのサービス業においては依然として厳しい状況。

マクロ環境（タイ王国）

- ・ 2021年4～6月のGDP成長率は前年同期比+7.5%と、2020年1～3月の-2.6%から6四半期ぶりにプラス成長へ転じる。（国家経済社会開発委員会データ）
- ・ タイ外務省は日本を含む46か国・地域に対し、新型コロナウイルスのワクチン接種完了等を条件に11月から入国時の隔離措置を免除すると発表。コロナ禍で打撃を受けた観光業の回復を目指す。

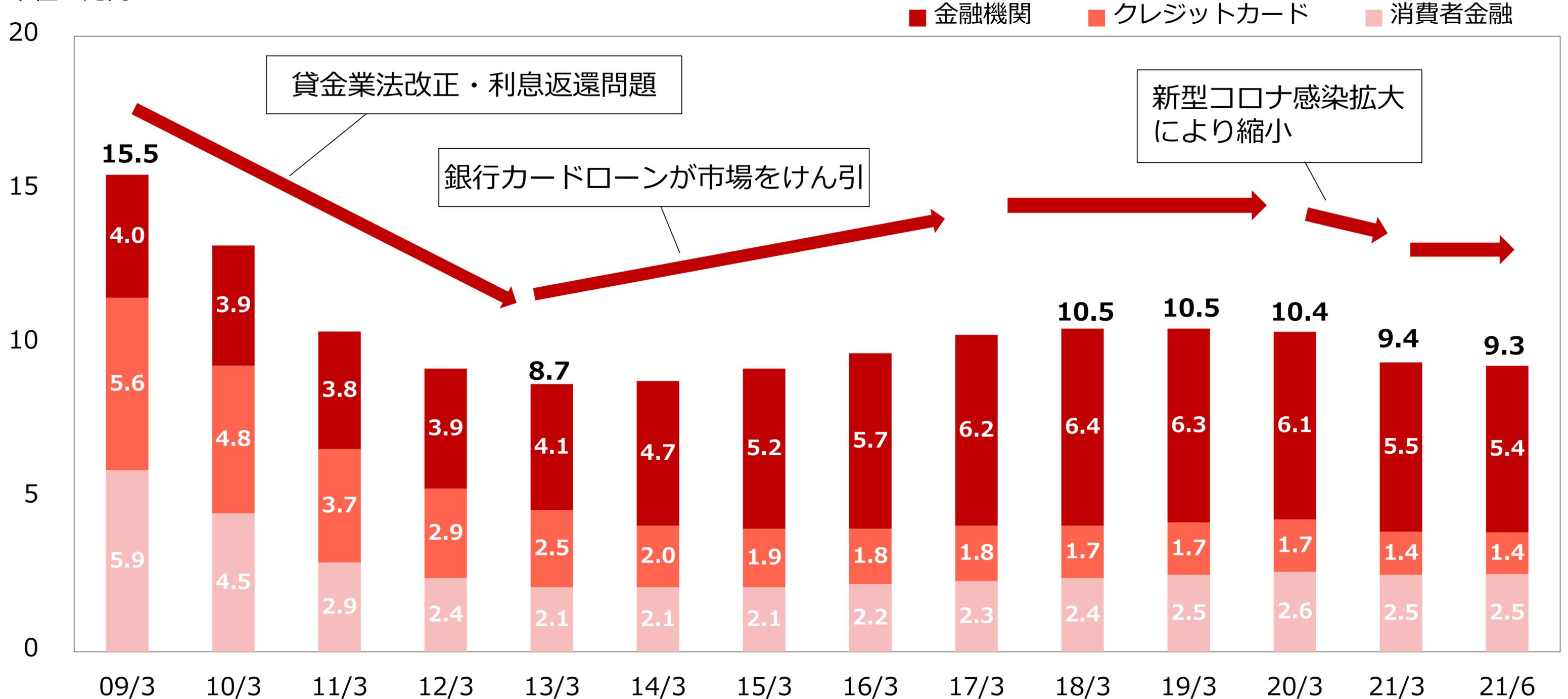
無担保ローン市場（2021年6月末時点）

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により市場規模は一時的に縮小。
- ・ 21年6月末時点の業態別の残高は、21年3月末比で金融機関が約1千億円減少した一方、消費者金融専業は底打ちし反転増加。
- ・ ワクチン接種が進んだこともあり消費活動ならびに資金需要は回復傾向。



無担保ローン市場

単位：兆円



※消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）



Ⅱ 決算概要



業績ハイライト (連結)

営業アセット

前年同期比
+7.1%

8,442億



ローン

前年同期比
+3.1%

5,610億



クレジット

前年同期比
+4.2%

1,085億



保証

前年同期比
+23.0%

1,594億



営業収益

前年同期比
+2.2%

648億

営業利益

前年同期比
+5.9%

99億

経常利益

前年同期比
-5.0%

98億

ROA

前年同期比
-0.1pt

2.3%



新規獲得（単体・無担保ローン）

99,106 件 

前々年同期比
-4.7%

前年同期比
+48.9%

計画進捗率
52.2%

信用保証残高

1,594 億円 

前々年同期比
+44.4%

前年同期比
+23.0%

背景

無担保ローン

- ・ ワクチン接種が進み消費活動が回復傾向
- ・ 非対面でのスピーディーな審査やスマホATMなどによりサービスの利便性を向上
- ・ 資金需要の回復に応じて適切に広告宣伝費を投下

信用保証

- ・ 金融機関のニーズに合わせた商品の提供
- ・ 提携先への積極的なアプローチとサポート体制
- ・ おまとめローンを中心に証書貸付残高が前年同期比で220億円増加



主要数値・通期計画（連結）

- ・ 営業アセット：主力の無担保ローンおよび信用保証事業の残高成長により前年同期比7.1%増
- ・ 信用保証事業：おまとめローンを中心とした証書貸付（前年同期比220億円増）が牽引し、前年同期比23%増の1,594億円

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比		22/3 (E)	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業アセット	788,224	844,289	56,065	7.1%	897,100	80,520	9.9%
ローン事業	544,064	561,013	16,949	3.1%	583,100	29,710	5.4%
無担保ローン	470,657	488,239	17,582	3.7%	508,400	26,712	5.5%
有担保ローン	20,075	16,971	-3,104	-15.5%	17,900	-381	-2.1%
事業者ローン	53,331	55,802	2,470	4.6%	56,700	3,278	6.1%
クレジット事業	104,226	108,595	4,368	4.2%	127,700	18,985	17.5%
支払承諾見返	131,098	160,499	29,401	22.4%	176,300	30,574	21.0%
信用保証事業	129,625	159,418	29,793	23.0%	175,300	30,871	21.4%
その他	1,472	1,080	-391	-26.6%	900	-397	-30.6%
営業収益	63,462	64,837	1,374	2.2%	131,800	4,318	3.4%
営業費用	54,084	54,907	822	1.5%	107,700	-2,250	-2.0%
営業利益	9,378	9,930	552	5.9%	24,100	6,569	37.5%
経常利益	10,373	9,856	-516	-5.0%	24,300	4,994	25.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,812	10,042	230	2.3%	23,100	4,662	25.3%



連結決算概要

- ・ 営業収益：信用保証収益ならびに、その他に含まれる償却債権取立益の増加等により、前年同期比2.2%増の648億円
- ・ 営業費用：資金需要の回復に伴う宣伝関連費用の増加等により前年同期比1.5%増の549億円

(単位：百万円)	20/9 (6M)	21/9 (6M)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	63,462	64,837	1,374	2.2%
営業貸付金利息	37,066	37,527	457	1.2%
信用購入あっせん収益	9,454	9,530	76	0.8%
信用保証収益	7,400	7,774	373	5.0%
その他の営業収益	9,541	10,009	467	4.9%
営業費用	54,084	54,907	822	1.5%
金融費用	3,632	3,572	-60	-1.7%
利息返還関連費用	-	-	-	-
貸倒関連費用	19,684	19,208	-476	-2.4%
宣伝関連費用	4,163	6,804	2,640	63.4%
人件費	8,439	8,399	-39	-0.5%
その他の費用	18,166	16,922	-1,241	-6.8%

(単位：百万円)	20/9 (6M)	21/9 (6M)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業利益	9,378	9,930	552	5.9%
営業外収益	1,093	292	-800	-73.3%
営業外費用	98	366	268	272.2%
経常利益	10,373	9,856	-516	-5.0%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
税引前利益	10,281	9,856	-425	-4.1%
法人税・住民税及び事業税	1,360	362	-997	-73.3%
法人税等調整	-712	-654	57	-
非支配株主に帰属する当期純利益	-178	106	285	-
親会社株主に帰属する当期純利益	9,812	10,042	230	2.3%

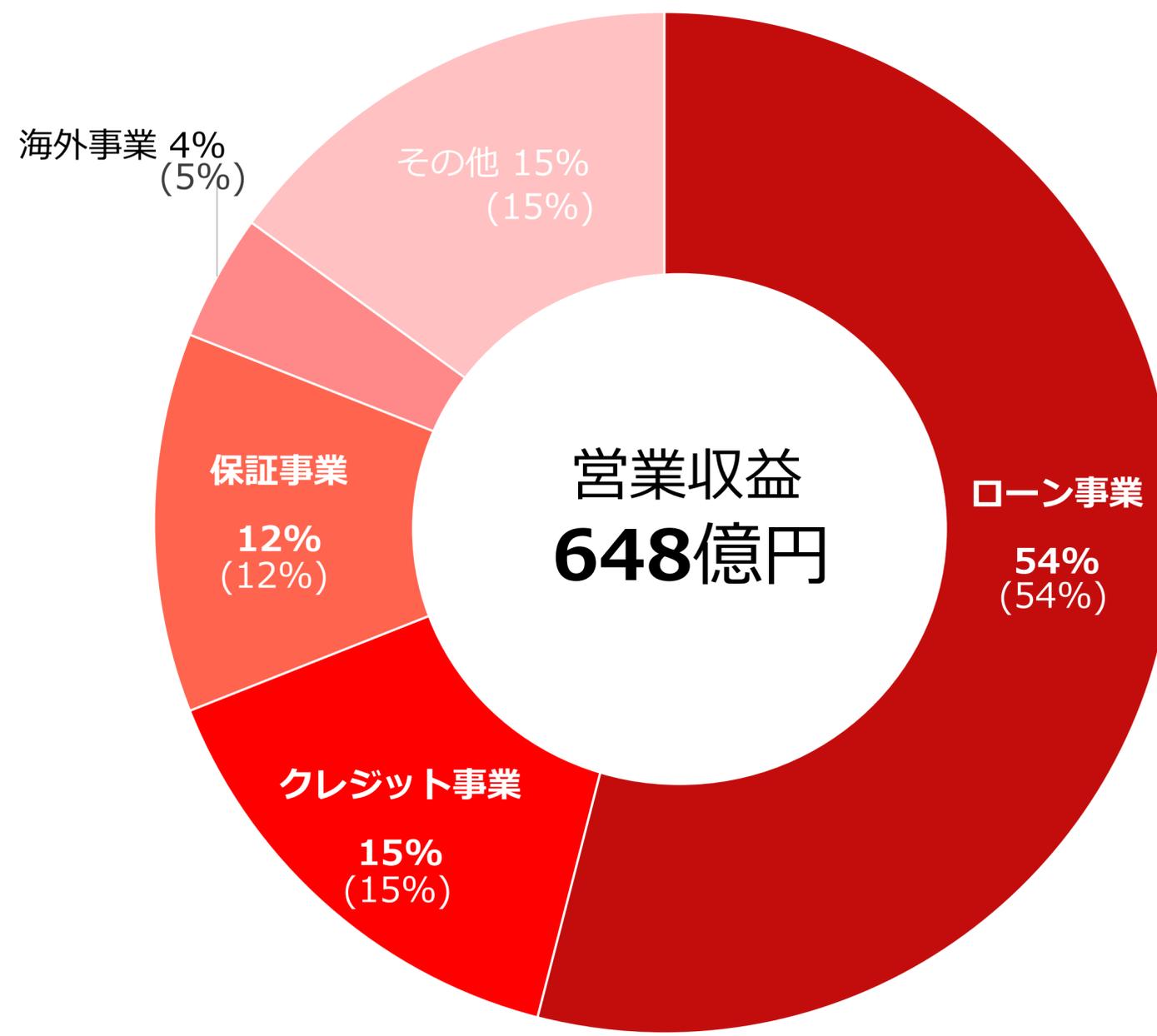
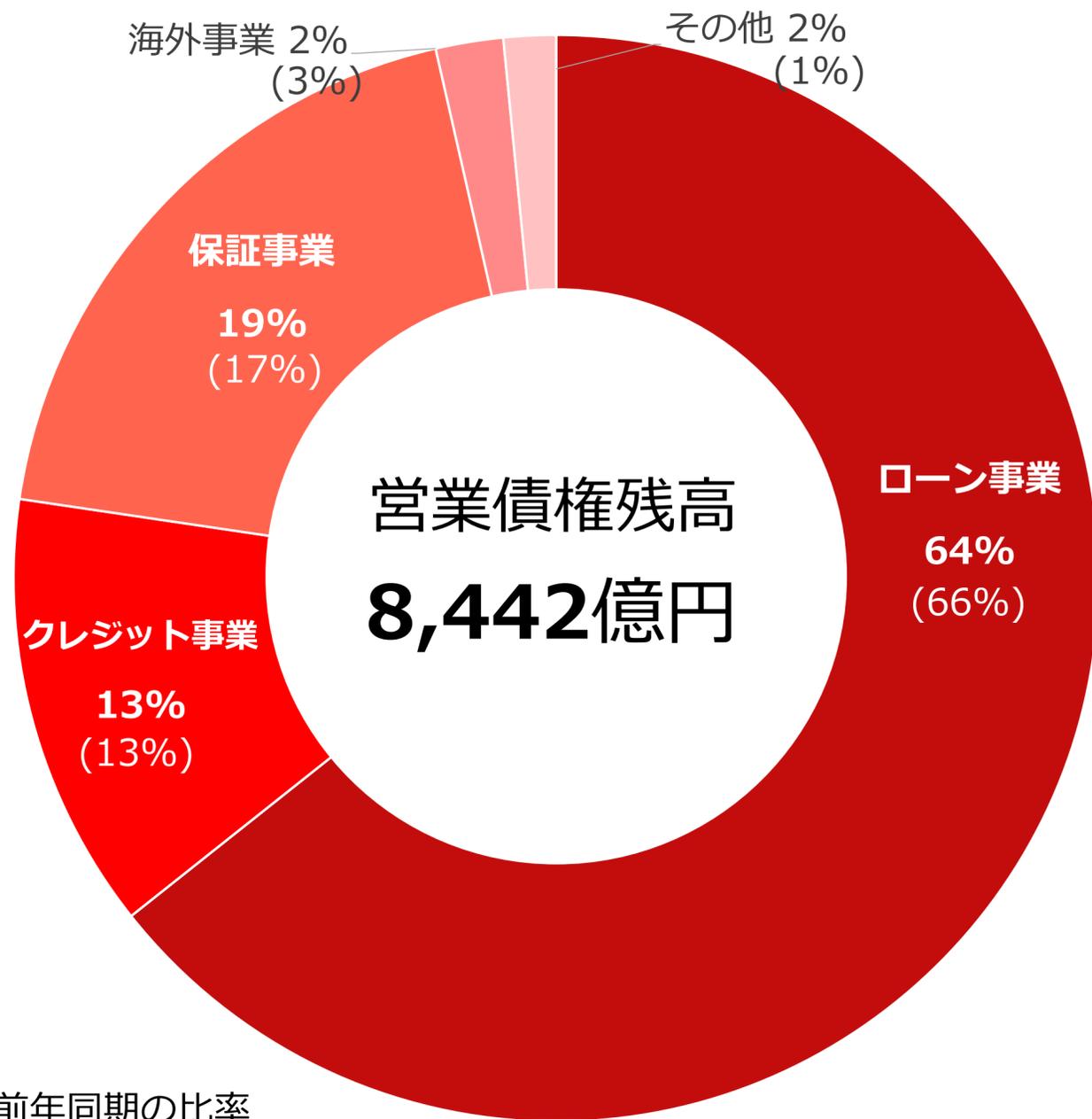


事業ポートフォリオ

【事業ポートフォリオの考え方】

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- ・ 営業債権残高：信用保証事業が残高2桁成長を背景に、前年同期比2pt増の19%と事業ポートフォリオの改善が継続
- ・ 営業収益：A&A（タイ王国）の営業収益が9%減少した結果、海外事業の占有が前年同期比1pt減少し4%

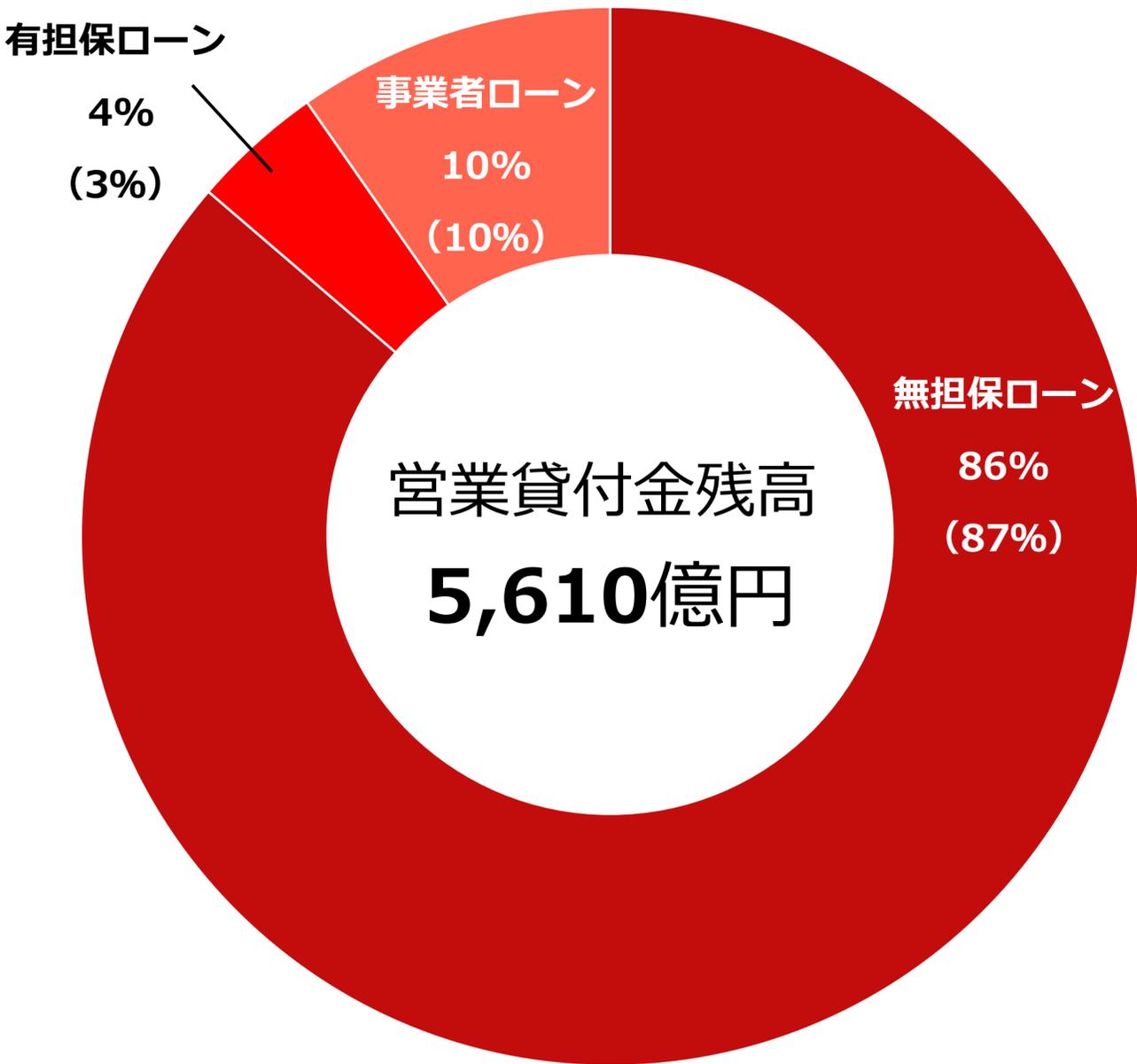


※()内は前年同期の比率

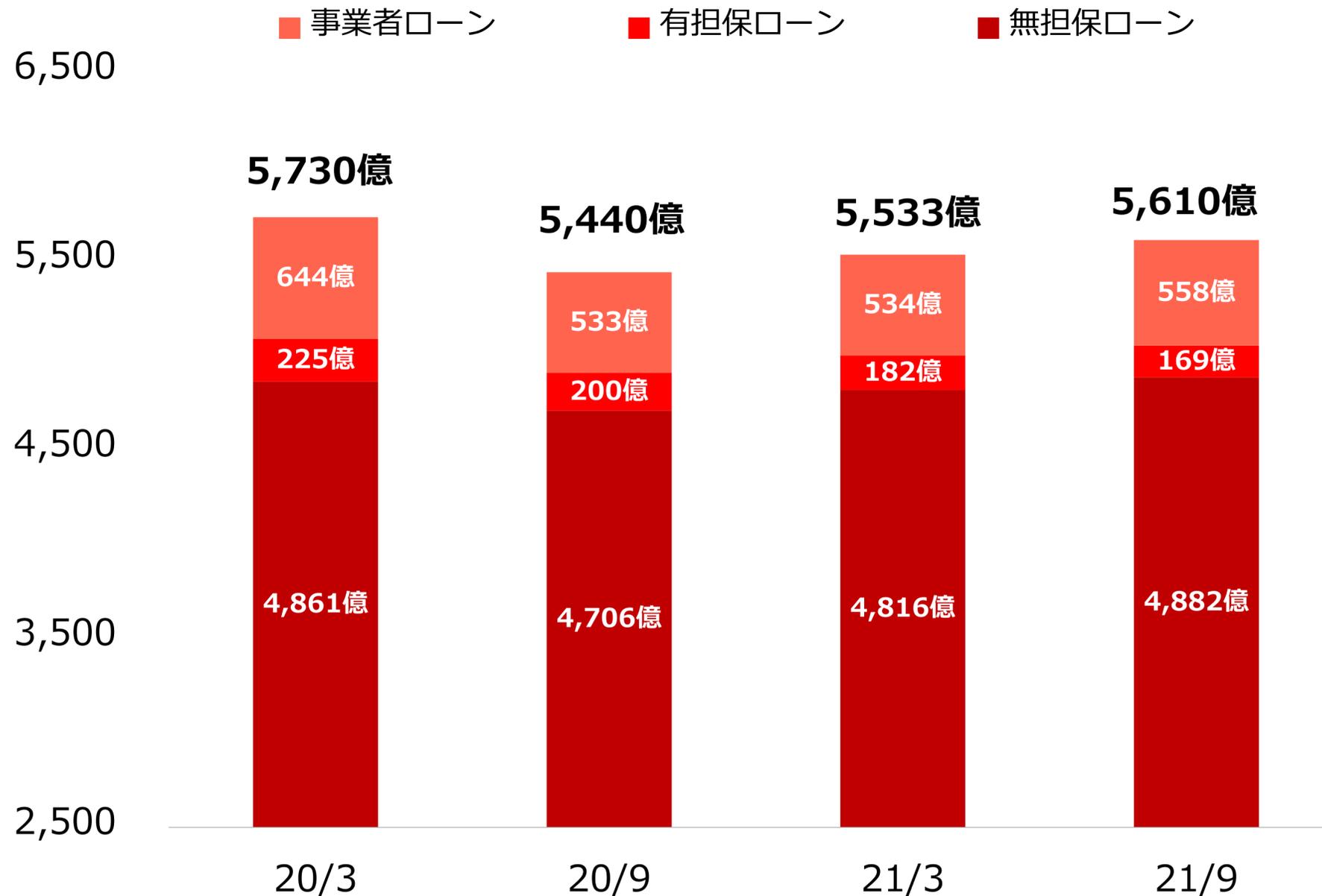


ローン事業 (1) 営業貸付金残高【連結】

- ・ 営業貸付金残高 : 無担保ローン需要の回復により、前年同期比3.1%増の5,610億円
- ・ 事業者ローン残高 : 新型コロナ救済の為の無利息融資等を背景とした残高減少が底打ちし、前期末比で4.5%増



単位：億円



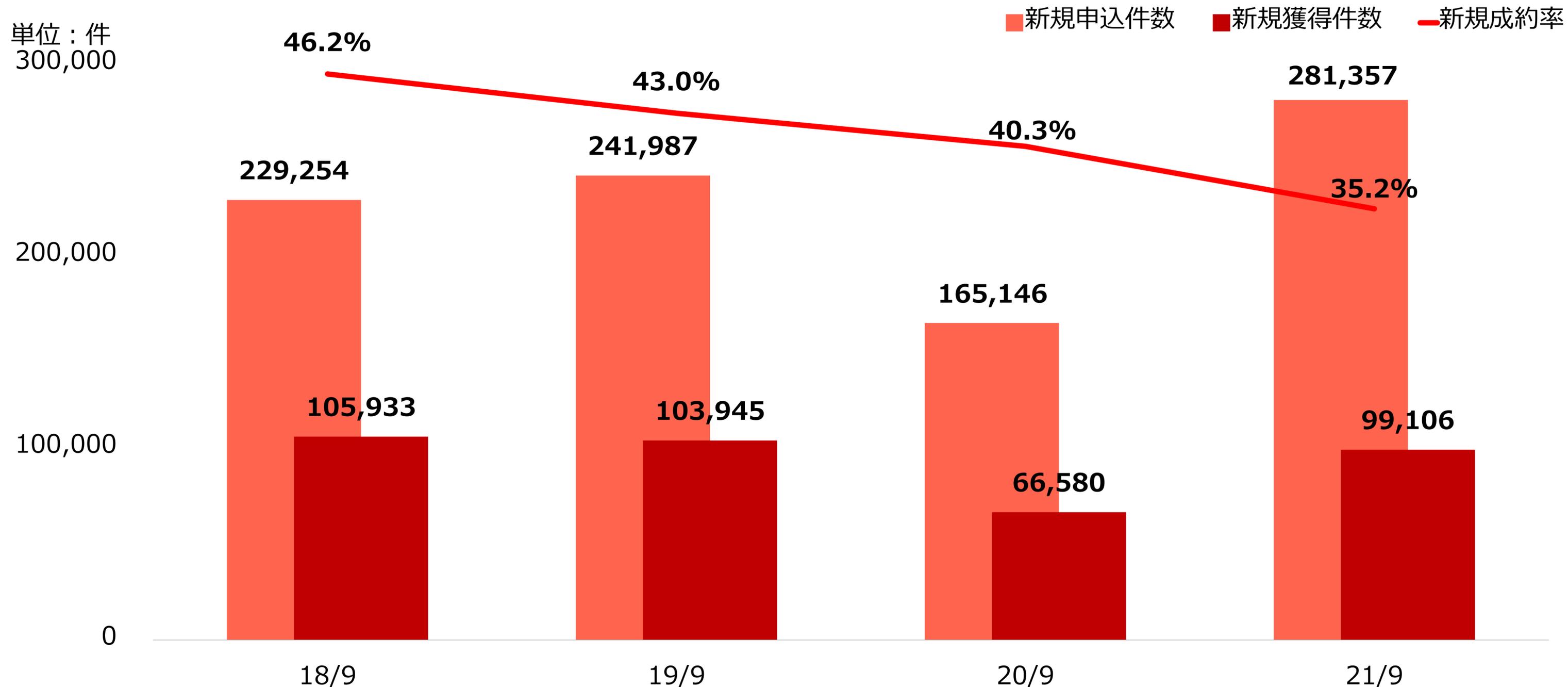
※()内は前年同期の比率

連結…アイフル、ライフカード、アイフルビジネスファイナンス、AGメディカル、AIRA&AIFUL



ローン事業 (2) 新規獲得【アイフル単体】

- ・ 新型コロナの影響により資金需要は前期期初に大きく落ち込んだが、前期下期以降回復基調が続く
- ・ 新規申込件数は前年同期比70.4%増の28.1万件、新規獲得件数は48.9%増の9.9万件
- ・ 新型コロナ影響前の20年3月期第2四半期との比較でも、申込は増加、獲得は同水準の推移となった



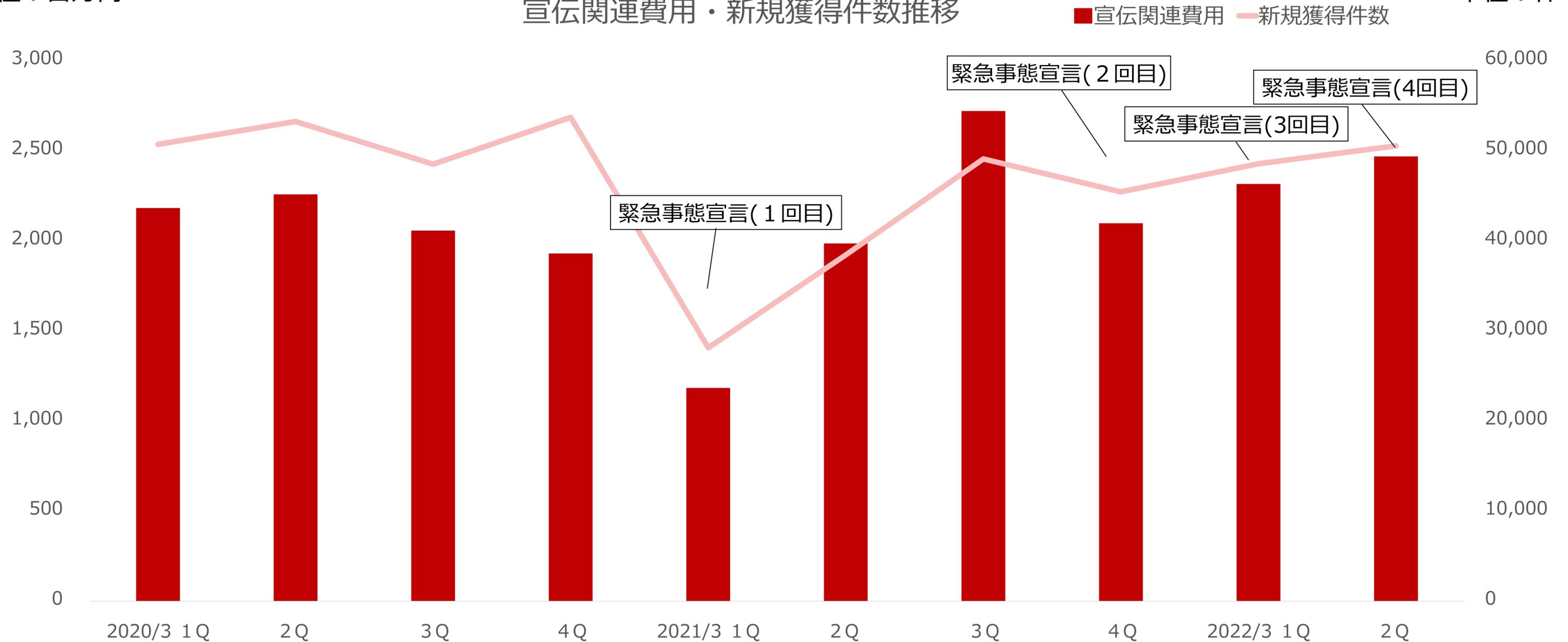
ローン事業 (3) 新型コロナ影響下の宣伝関連費用と新規獲得の相関【アイフル単体】

- ・ 宣伝関連費用の投下量と新規獲得件数は相関関係にある
- ・ 緊急事態宣言等新型コロナ影響を加味し、市場環境の動きに合わせた適切な宣伝関連費用の投下を実施
- ・ 2021年3月期第3四半期以降例年並みの費用投下を行ったことにより、新規獲得件数は回復傾向

単位：百万円

単位：件

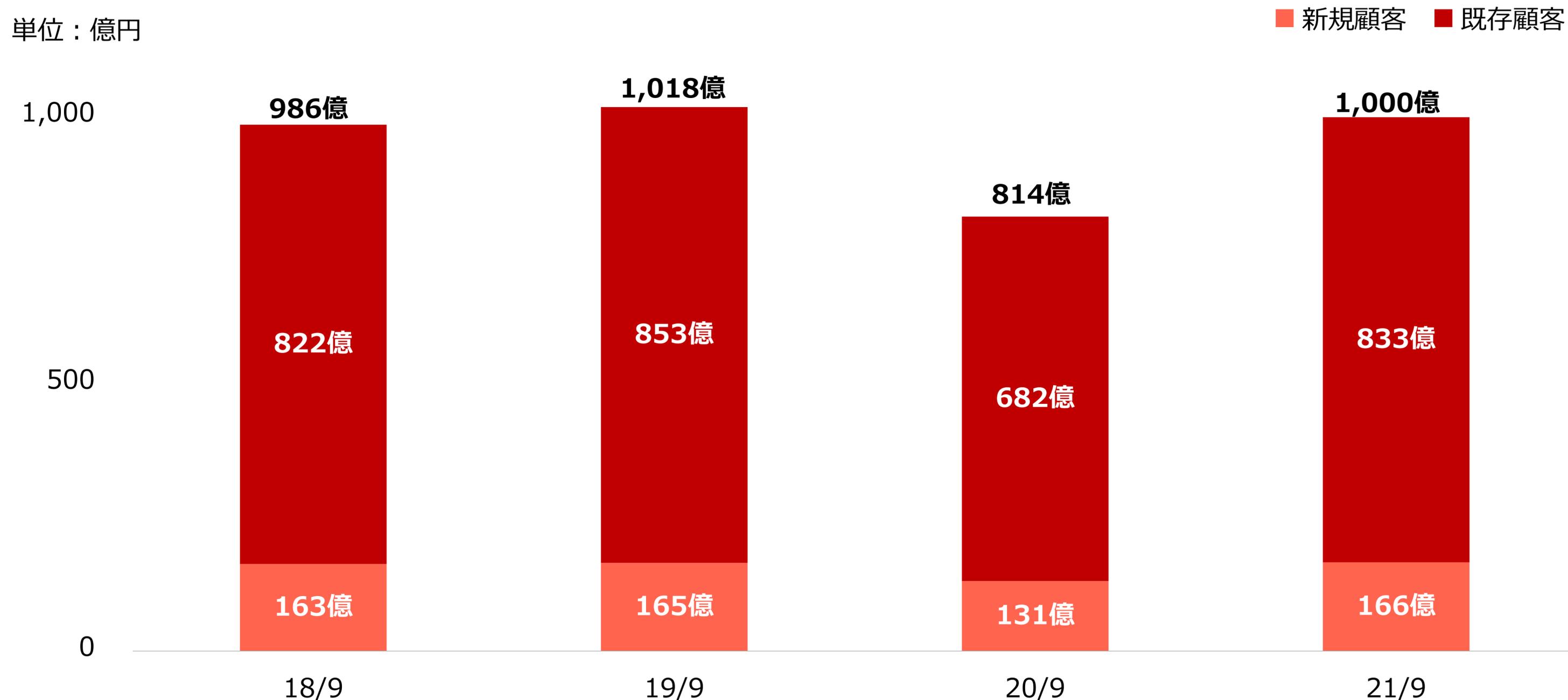
宣伝関連費用・新規獲得件数推移





ローン事業（4） 貸付量（新規・既存）【アイフル単体】

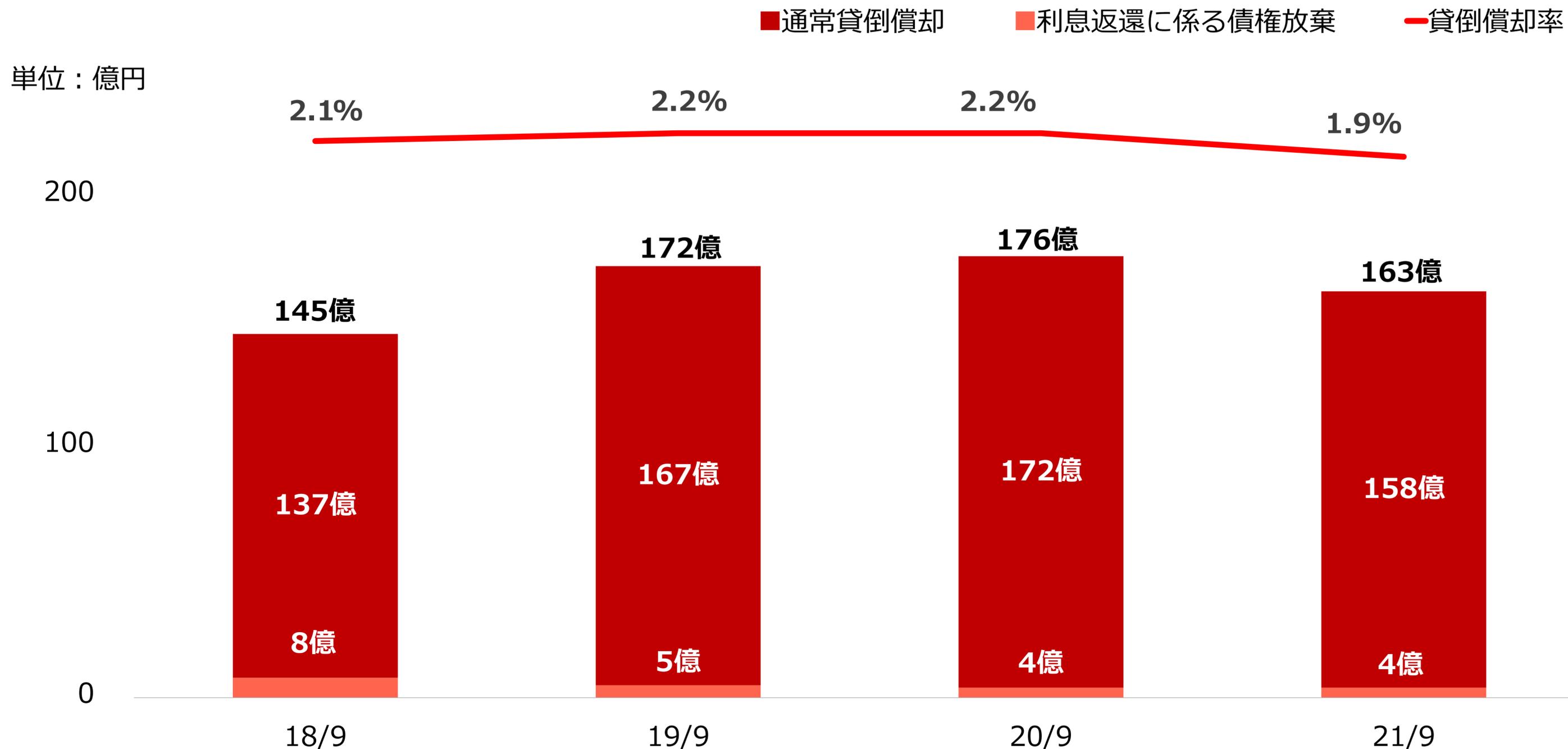
- ・新型コロナによる資金需要の低下影響を受けた前年同期と比較して、貸付量は新規・既存いずれも回復
- ・新規顧客への貸付量は前年同期比26.7%増の166億円、既存顧客への貸付量は前年同期比22.1%増の833億円
- ・新型コロナ影響前の2020年3月期第2四半期との比較では、新規・既存顧客ともに同水準の貸付量となっている





不良債権 (1) 貸倒償却【連結】

- ・ 貸倒償却は前年同期比8.0%減の163億円、償却率は 1.9% と低位安定
- ・ 貸倒償却の内、利息返還に係る債権放棄は4億円と低位で推移



※連結…アイフル、ライフカード、アイフルビジネスファイナンス、アイフルギャランティー、AG債権回収、AIRA & AIFUL

※貸倒償却率は2022年3月期第2四半期より、「利息返還に係る債権放棄」を含んだ貸倒償却率のみの開示としております。

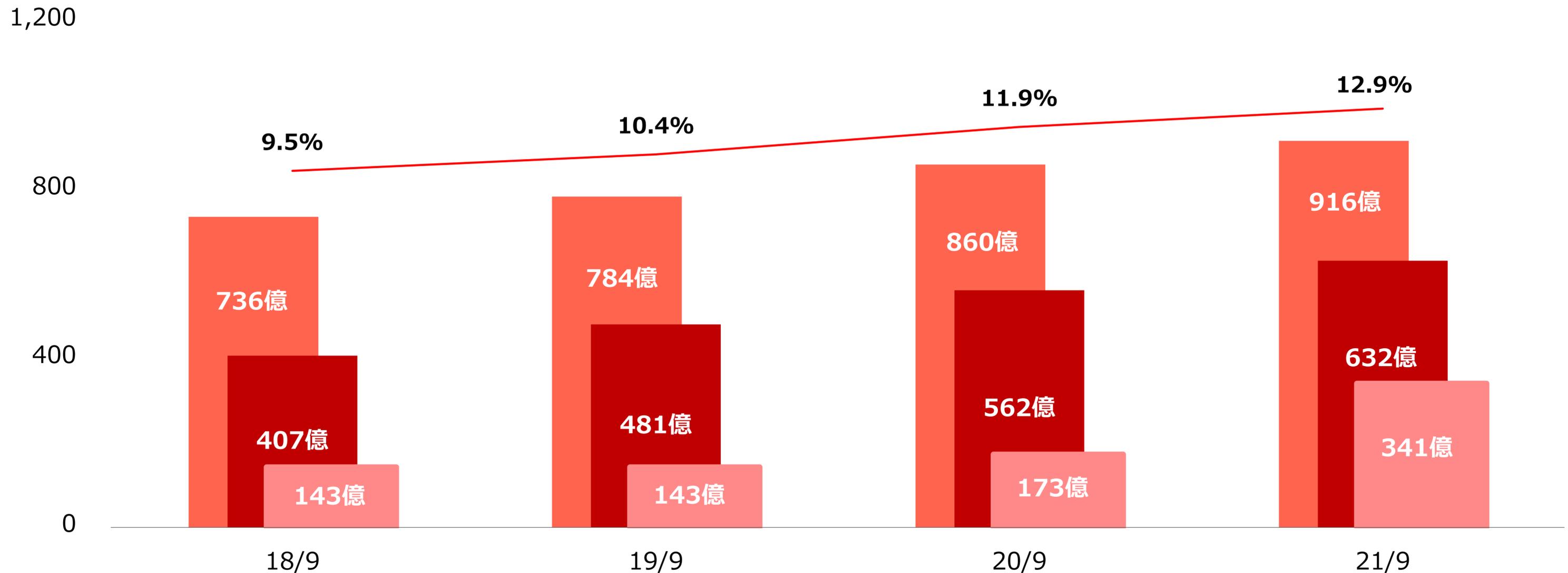


不良債権（2） 無担保ローン不良債権【連結】

・ 定期的な入金が見込める和解債権（貸出条件緩和債権）の増加を主要因として、無担保ローン不良債権残高は前年同期比12.3%増の632億円、不良債権比率は1.0pt増の12.9%となった

単位：億円

■ 不良債権残高 ■ 無担保ローン不良債権残高 ■ 無担保ローン貸出条件緩和債権残高 — 無担保ローン不良債権比率



※2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含んでおります。

※不良債権残高…アイフル、ライフカード、アイフルビジネスファイナンス、AGメディカル、AIRA&AIFUL

※不良債権残高（無担保のみ）…アイフル、ライフカード、AIRA&AIFUL

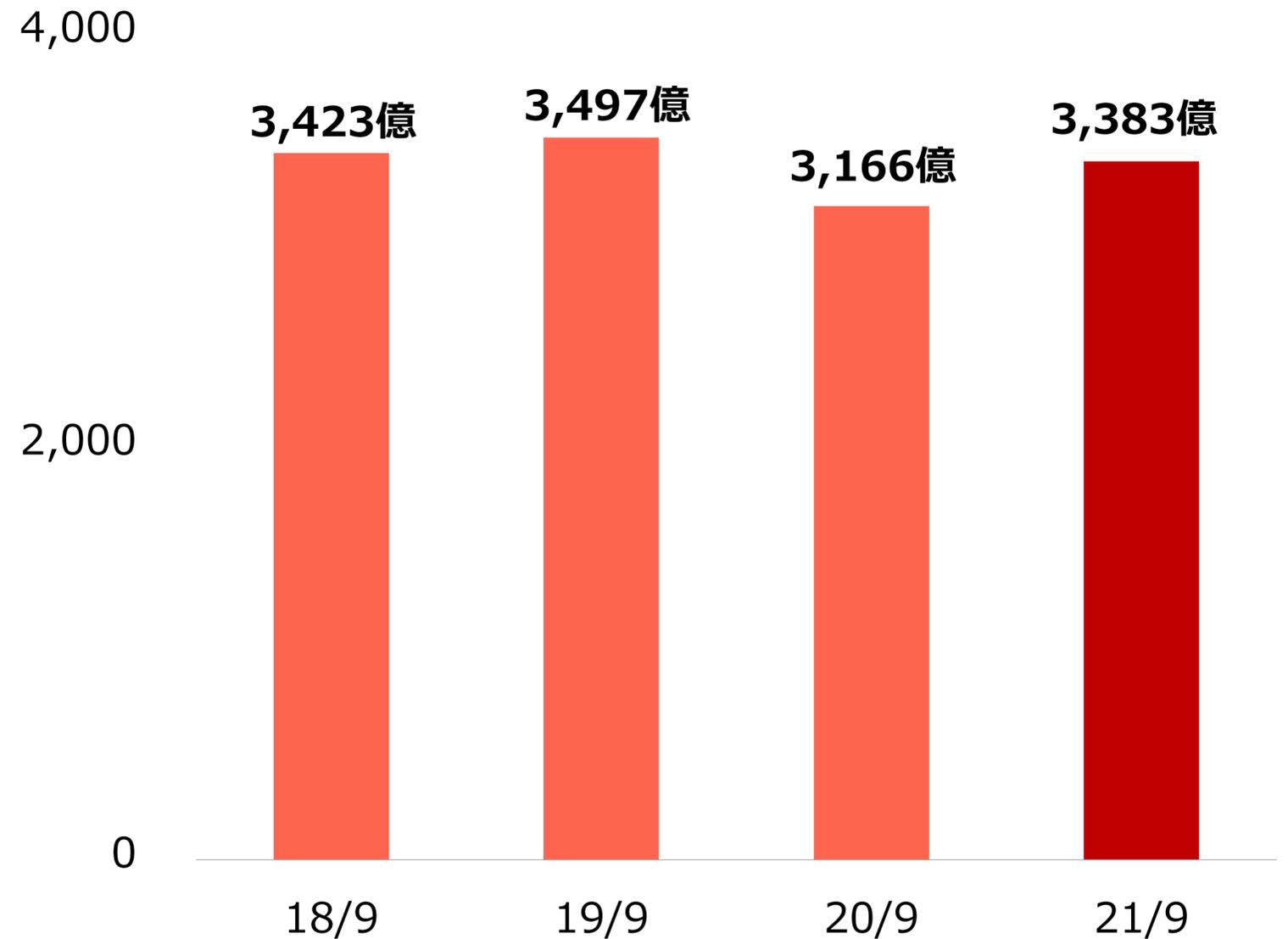
クレジット事業（カード・個品）（1） 買上実績【連結】

・前年度においては新型コロナの影響によって旅行やレジャー施設等を中心にクレジットカード利用が低迷したが、徐々に回復の動きが見られることや、アイフルギャランティーの買上が好調であることから前年同期比6.8%増の3,383億円

【買上実績】

単位：百万円	19/9	20/9	21/9	前年同期比 増減率
買上実績	349,783	316,633	338,319	6.8%
クレジットカード	349,783	314,013	333,423	6.2%
個別信用 購入あっせん	-	2,620	4,896	86.9%

単位：億円



※2020年3月期より個別信用購入あっせん業を行うアイフルギャランティー株式会社を連結の範囲に含めております。

※連結…ライフカード、アイフルギャランティー

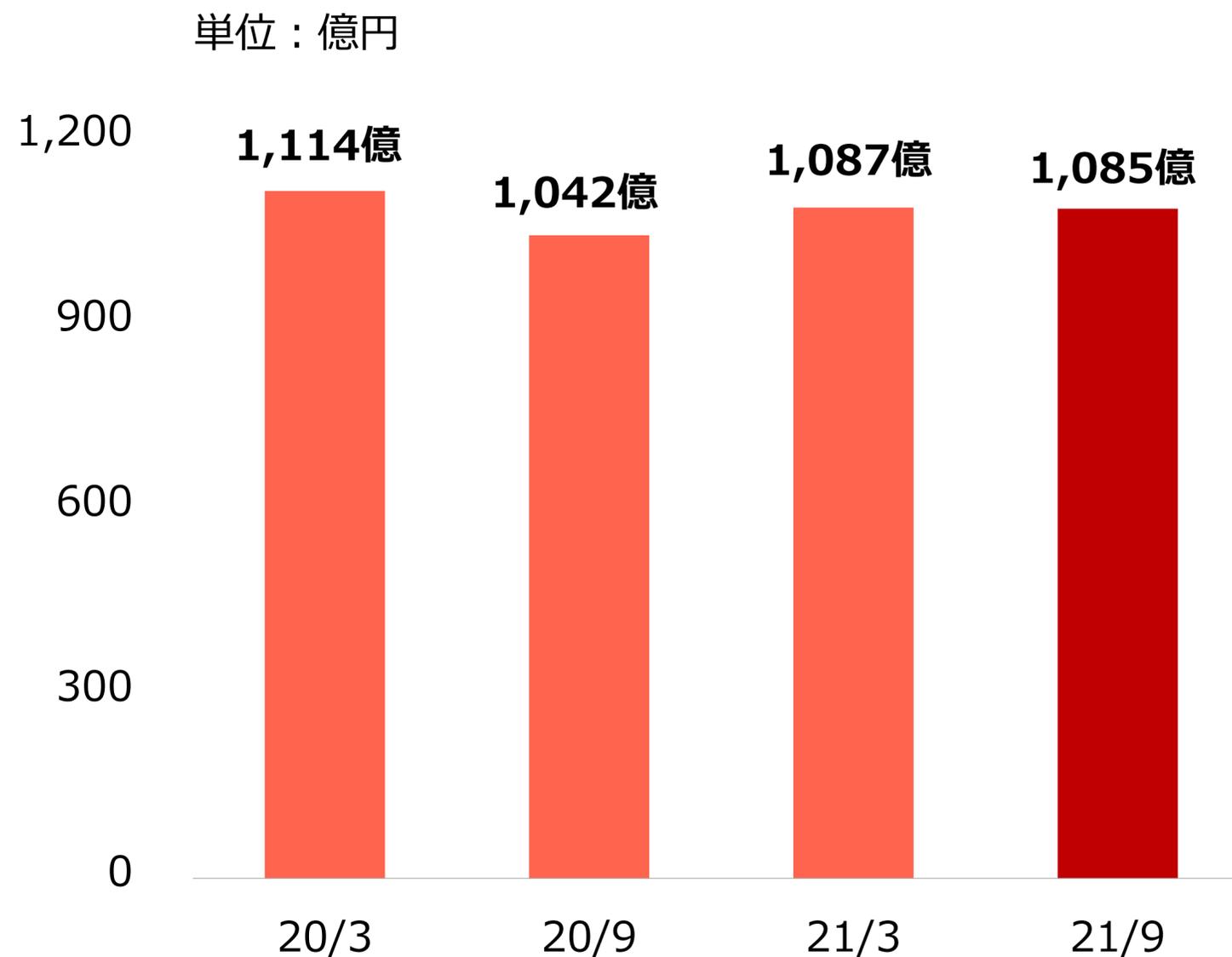


クレジット事業（カード・個品）（2） 割賦売掛金残高【連結】

・アイフルギャランティーにおいて、新規加盟店の開拓ならびに買上が順調に推移し、個別信用購入あっせんが前年同期比68.1%増加した結果、割賦売掛金残高は前年同期比4.2%増の1,085億円

【割賦売掛金残高】

(単位：百万円)	20/9	21/3	21/9	前年同期比 増減率
割賦売掛金残高	104,226	108,714	108,595	4.2%
クレジット カード	97,607	100,504	97,469	-0.1%
個別信用 購入あっせん	6,618	8,210	11,125	68.1%



※2020年3月期より個別信用購入あっせん業を行うアイフルギャランティー株式会社を連結の範囲に含めております。

※連結…アイフル、ライフカード、アイフルギャランティー

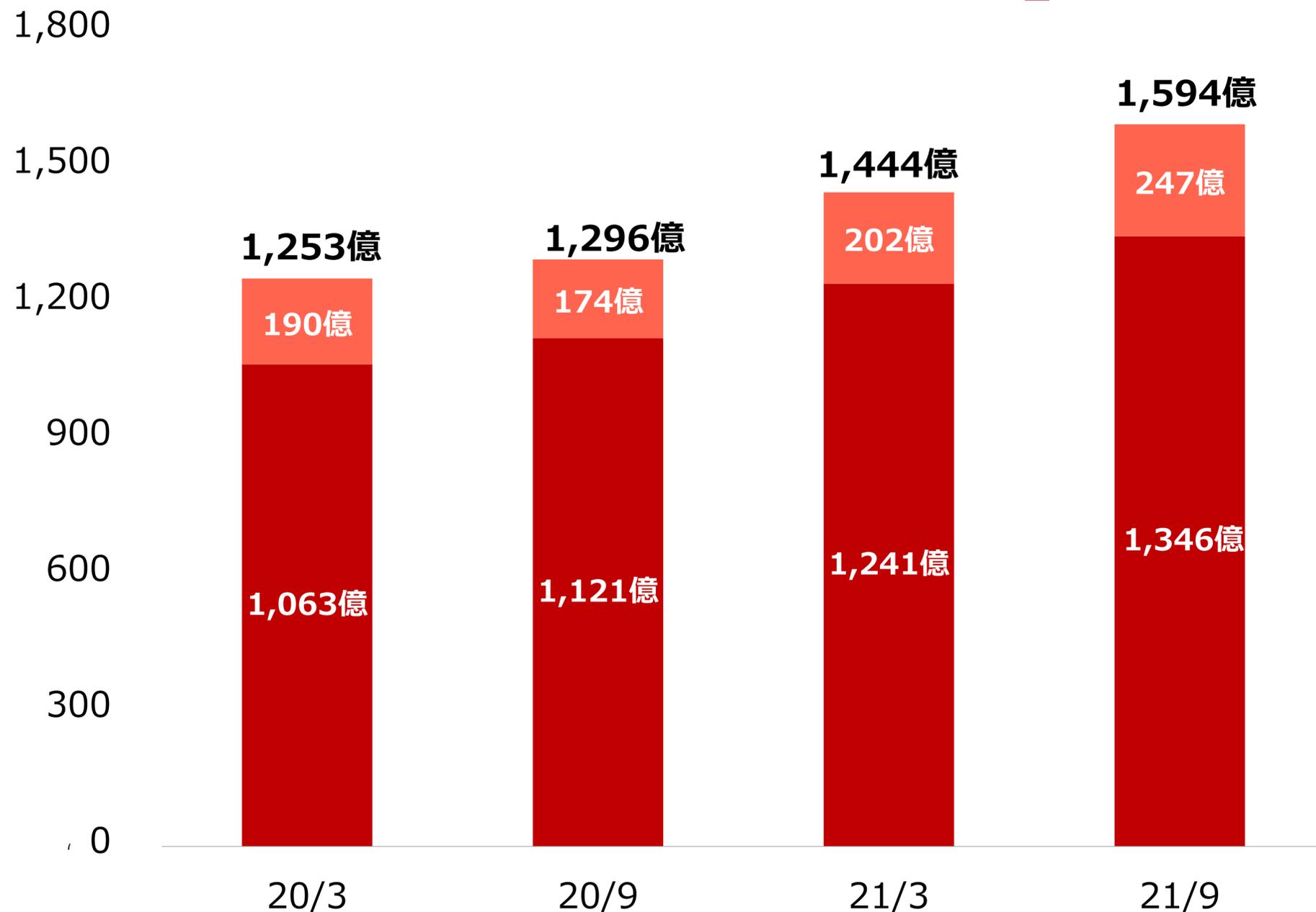


信用保証事業 個人・事業者向け保証残高【連結】

・商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、前年同期比23.0%増の1,594億円と新型コロナ前の成長率まで回復

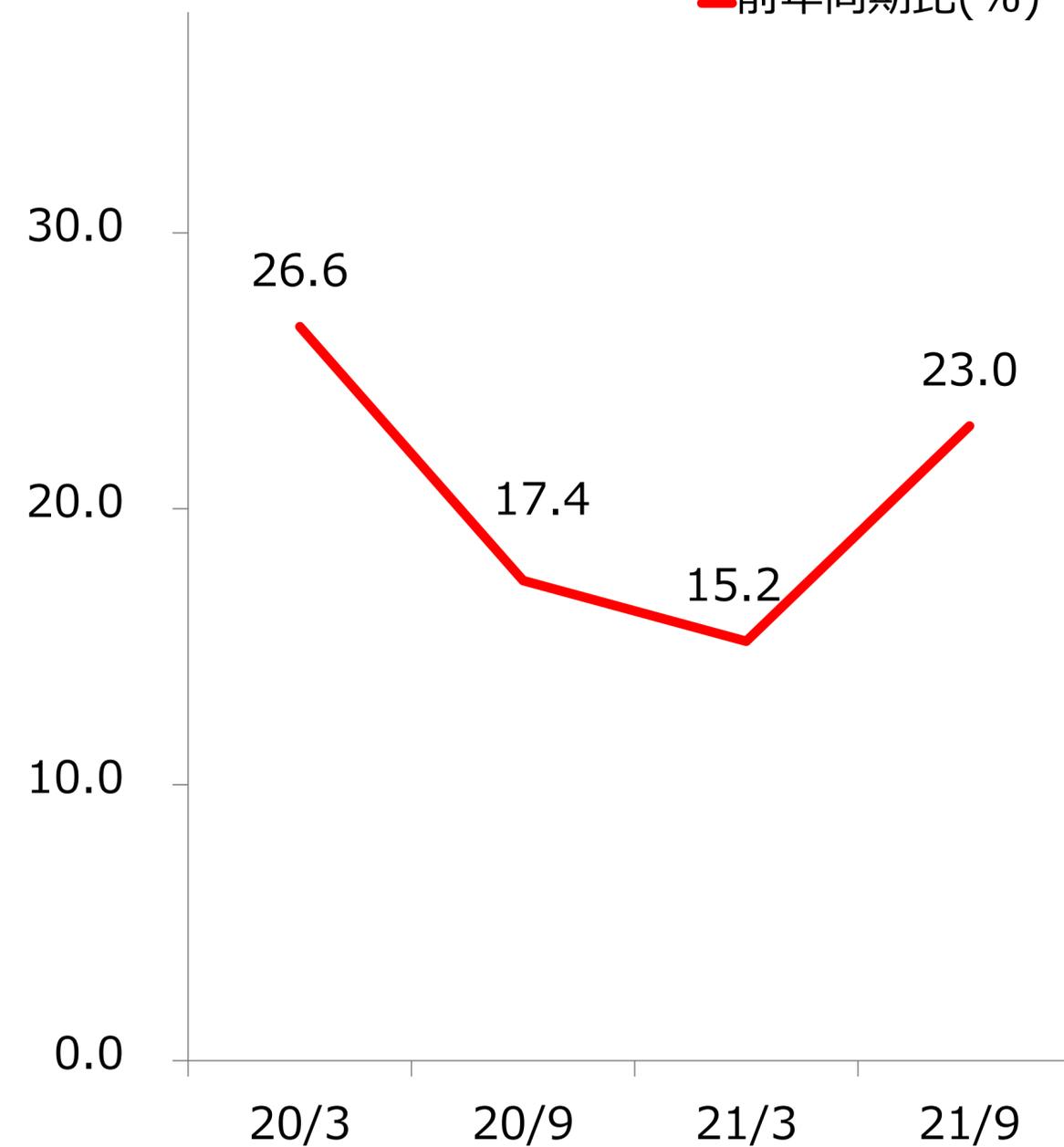
【保証残高】

単位：億円



【保証残高成長率】

—前年同期比(%)



※連結…アイフル、ライフカード

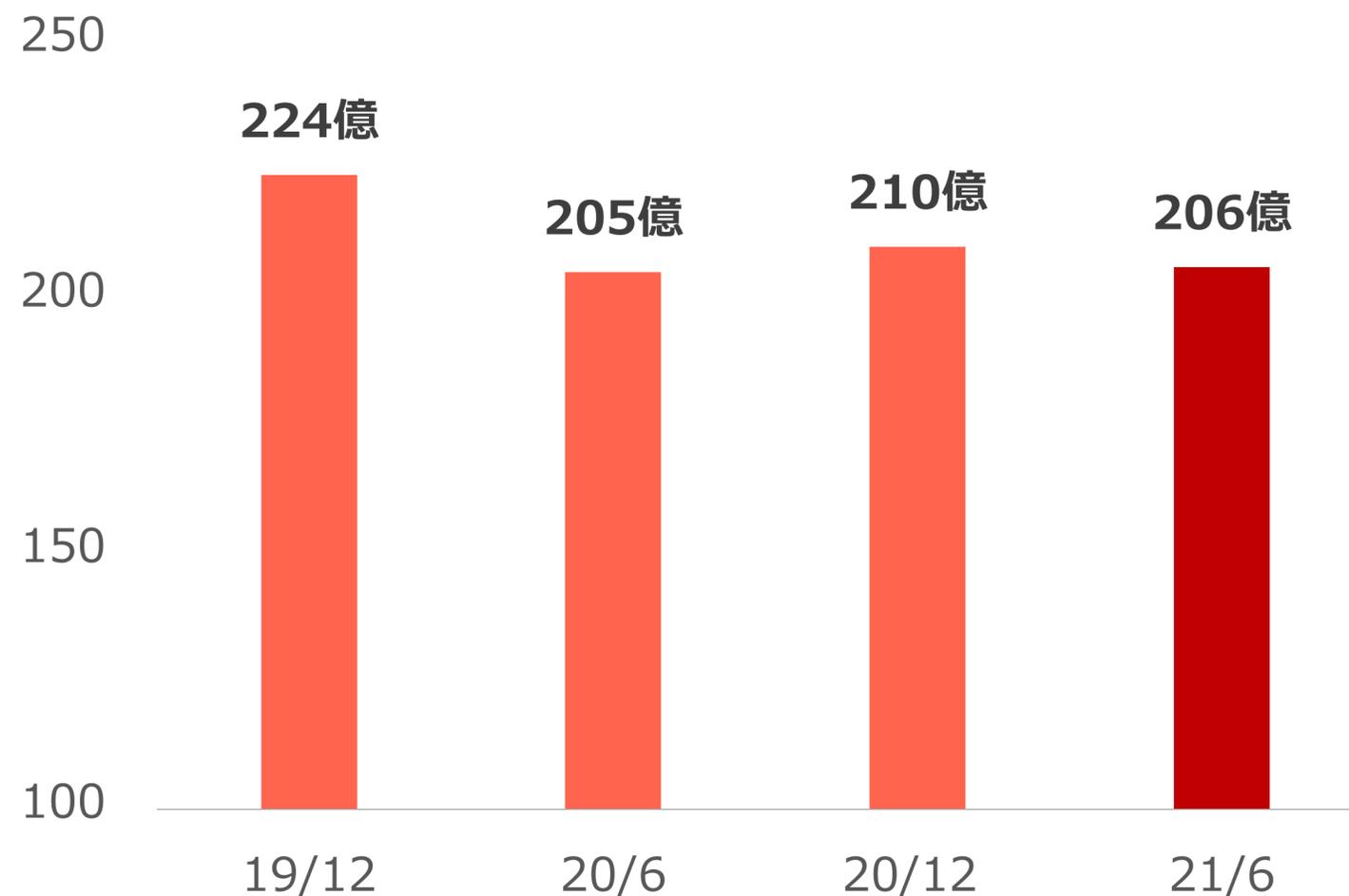


・債権ポートフォリオの良化に伴い貸倒関連費用が減少した結果、第2四半期（1～6月）における経常利益は2億円

(単位：百万円)	20/6	21/6	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	20,509	20,661	0.7%
口座数 (千)	322	321	-0.2%
営業収益	3,085	2,806	-9.0%
営業利益	-91	207	-
経常利益	-104	209	-
当期純利益	-104	209	-

【営業貸付金残高】

単位：億円



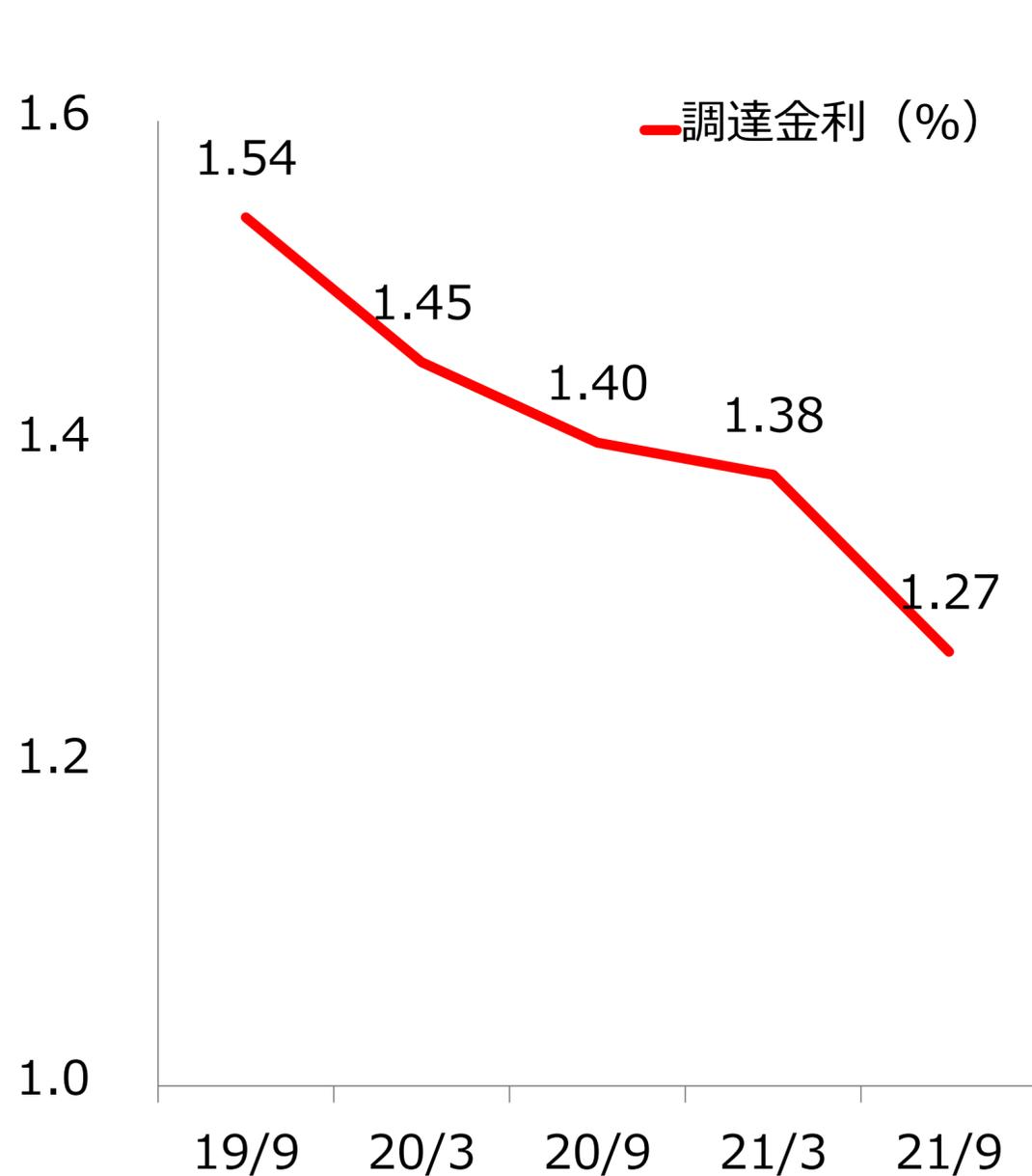
※ A& Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月です。
 ※為替レート (タイバーツ) B/S : 2020年度2Q 3.49円、2021年度2Q 3.44円
 P/L : 2020年度2Q 3.43円、2021年度2Q 3.50円



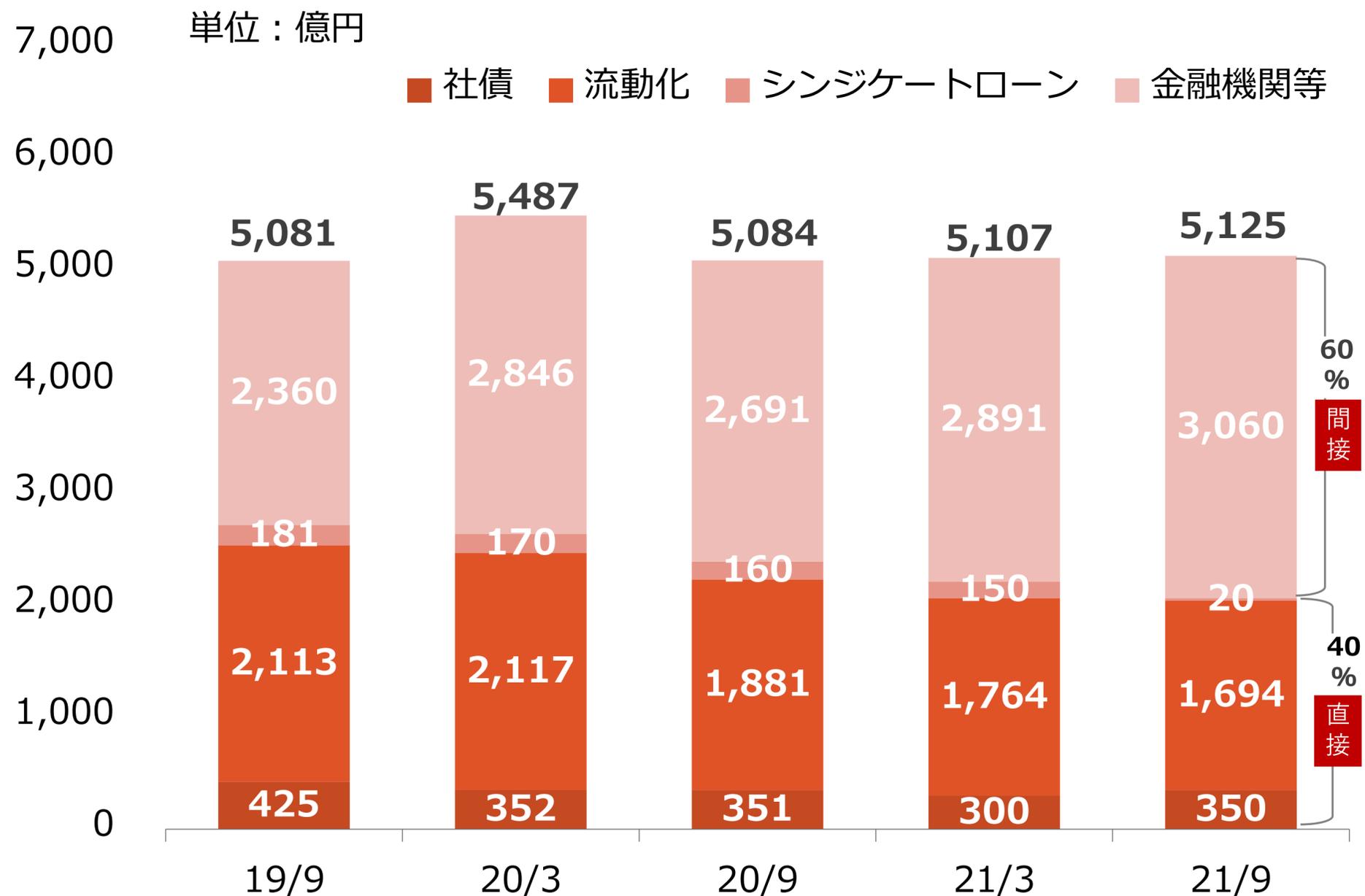
資金調達【連結】

- ・ 調達金利：業績改善により直接・間接ともに低下傾向
- ・ 調達金額：資金需要の回復に伴い、前年同期比0.8%増の5,125億円

【調達金利】



【調達金額】



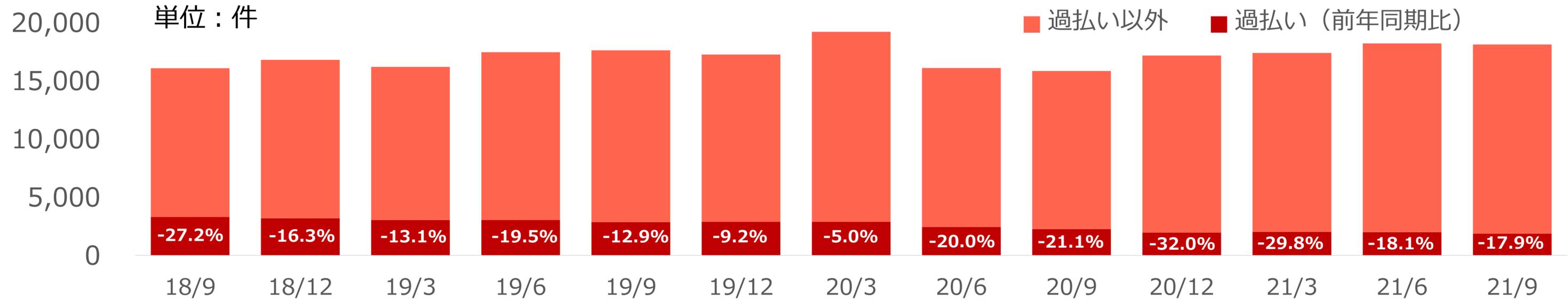
※連結…アイフル、ライフカード、アイフルビジネスファイナンス、AGメディカル、アイフルギャランティー、AG債権回収、AIRA&AIFUL



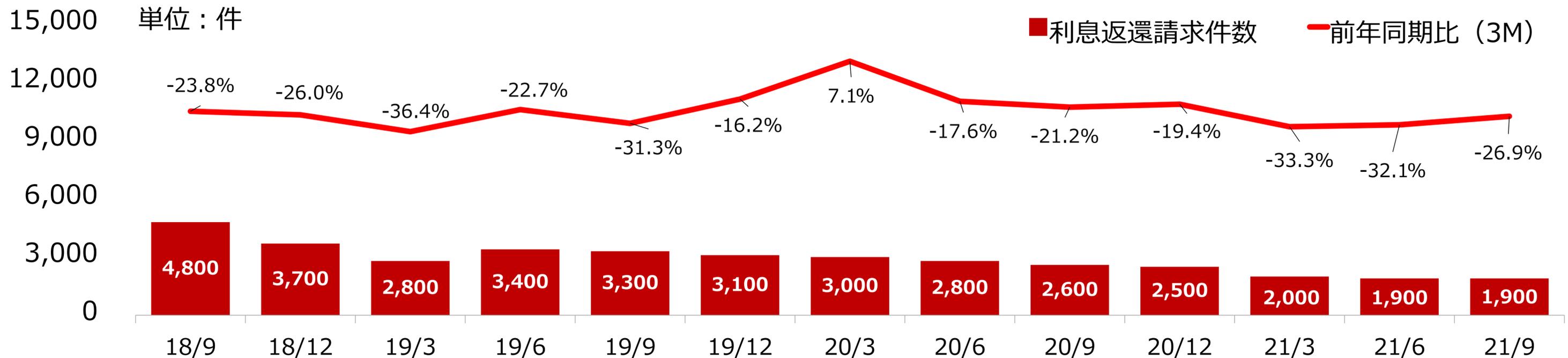
利息返還 (1) 利息返還請求

- ・ 介入入庫のうち過払いの対象となる介入過払の入庫は前年同期比17.9%減少
- ・ 利息返還請求件数は前年同期比（3か月合計）26.9%減の1,900件と引き続き減少傾向

【弁護士等介入入庫指数の推移（単体）】



【利息返還請求（単体）】



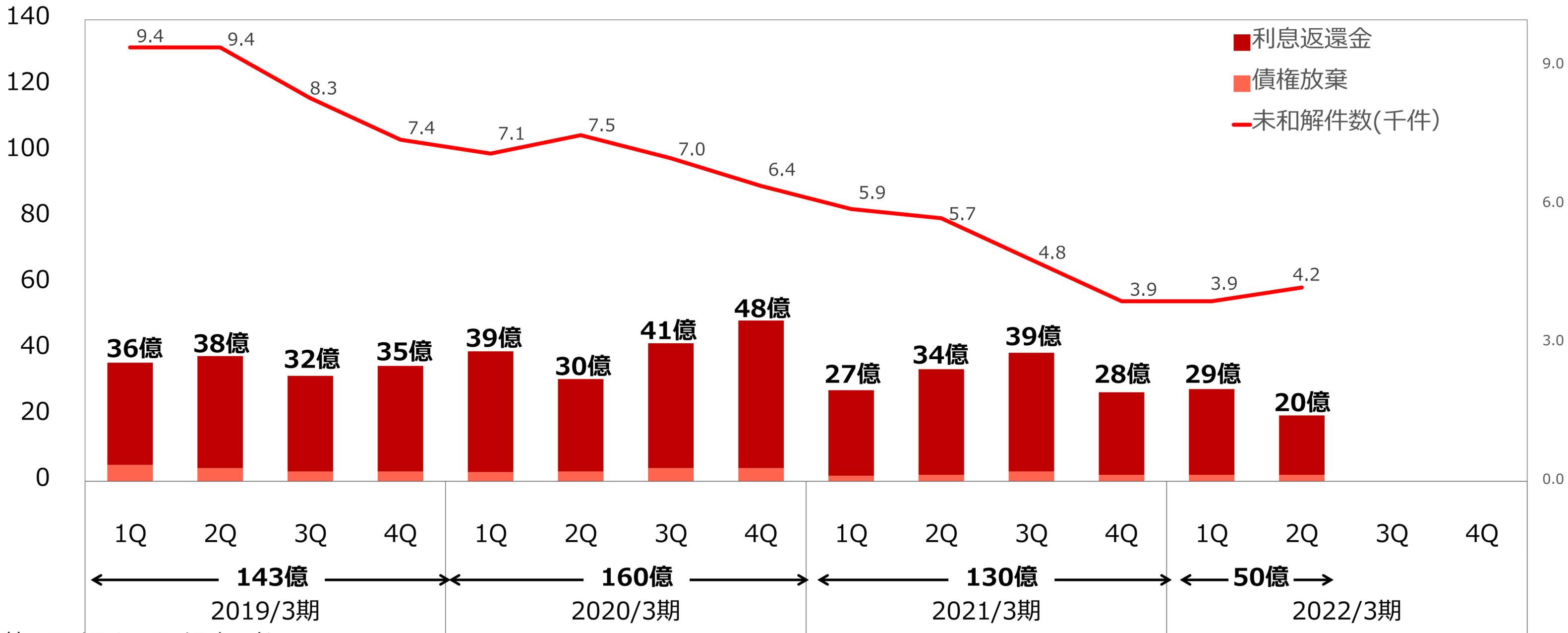


利息返還 (2) 引当金の取崩額

- ・ 2022年3月期第2四半期累計での連結利息返還損失引当金取崩額は前年同期比18.7%減の50億円（うち利息返還45億円、債権放棄4億円）
- ・ 積極的に和解を進めたことで未和解件数は着実に減少しており、2022年3月期第2四半期では4,200件となった

【引当金取崩額（連結）】

単位：億円



※連結…アイフル、ライフカード



利息返還 (3) 引当金の内訳

・ 期首引当金残高156億円から発生額50億円（うち利息返還45億円、債権放棄4億円）を取り崩し、期末引当金残高は106億円

【引当金残高】

(連結)

(単位：百万円)	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	12,913	2,737	15,651
発生額（利息返還）	4,577	-	4,577
発生額（債権放棄）	-	461	461
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	8,335	2,275	10,611

(アイフル単体)

(単位：百万円)	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	11,460	2,397	13,857
発生額（利息返還）	4,156	-	4,156
発生額（債権放棄）	-	384	384
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	7,304	2,013	9,317

※ライフカードの債権放棄発生額は、2022年3月期より債権放棄引当金からの取崩しに変更しております。

Ⅲ ライフカード決算概要



Be Unique! を掲げユニークなブランドポジションを目指す

Be Unique!

ターゲット層への的確な機能やサービス提供によりLTVを高める

女性向け：Barbieカード



若年層向け：学生専用カード



地域密着型：武蔵小山商店街
パルムカード



エンタメ系：HYDE CARD



コスト削減の取り組み

- ・ **DX推進**
(例：カード明細書・申込書のWEB化、契約書の電子化)
- ・ **デザインの内製化**
(例：カード券面デザイン・自社HP)
- ・ **WEB更改**
(例：AIチャットボット導入・HP視認性向上)
- ・ **SFA（営業支援ツール）** ・ **RPA化による業務効率化**

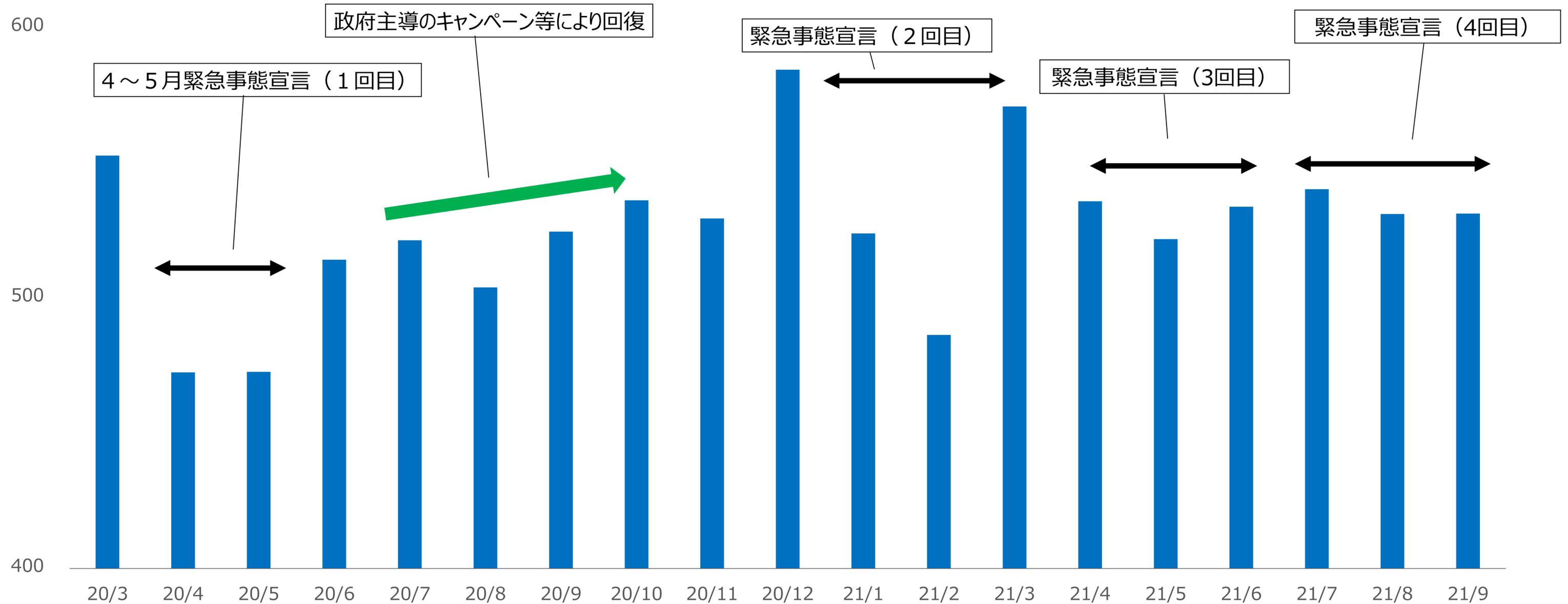
高収益・ローコスト体制の構築

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	15,962	15,669	-293	-1.8%
信用購入あっせん収益	8,180	7,955	-225	-2.8%
営業貸付金利息	2,359	2,069	-290	-12.3%
信用保証収益	778	861	82	10.6%
その他収益	4,643	4,783	139	3.0%
営業費用	14,406	13,772	-634	-4.4%
金融費用	709	604	-105	-14.8%
貸倒関連費用	1,839	1,703	-135	-7.4%
利息返還関連費用	-	-	-	-
広告宣伝費	60	445	385	640.5%
販売促進費	698	1,219	521	74.7%
人件費	2,333	2,304	-28	-1.2%
その他費用	8,765	7,493	-1,271	-14.5%
営業利益	1,555	1,896	340	21.9%
経常利益	2,090	1,985	-105	-5.1%
当期純利益	1,700	2,465	765	45.0%

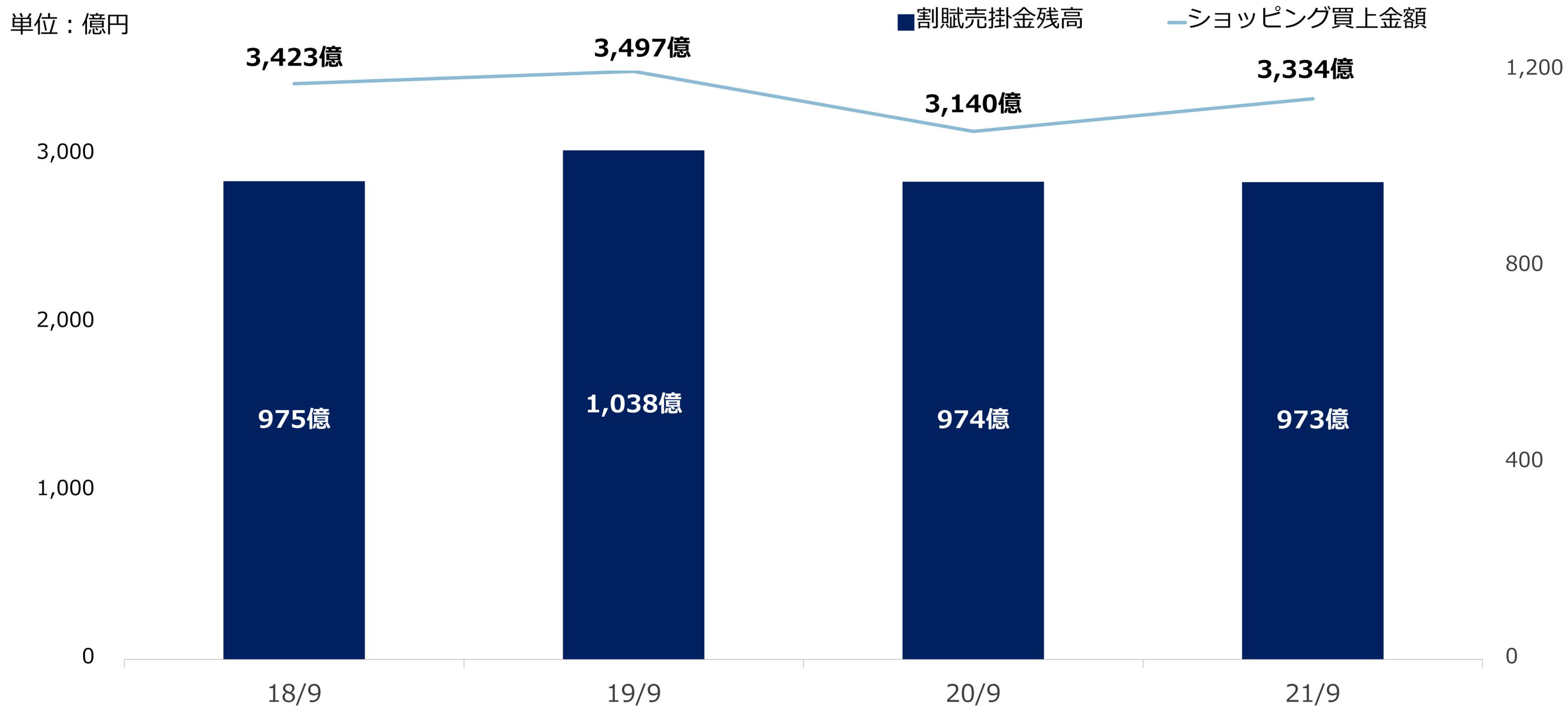
月次買上実績 (ショッピング)

- ・今期上期は全期間緊急事態宣言下ながら新しい生活様式の浸透もあり、WEBを中心にカード利用は回復傾向
- ・下期以降は宣言解除より更なる利用拡大が見込まれる

単位：億円



・ショッピング買上の回復に加え、リボ・分割払いの推進により前期同水準まで回復



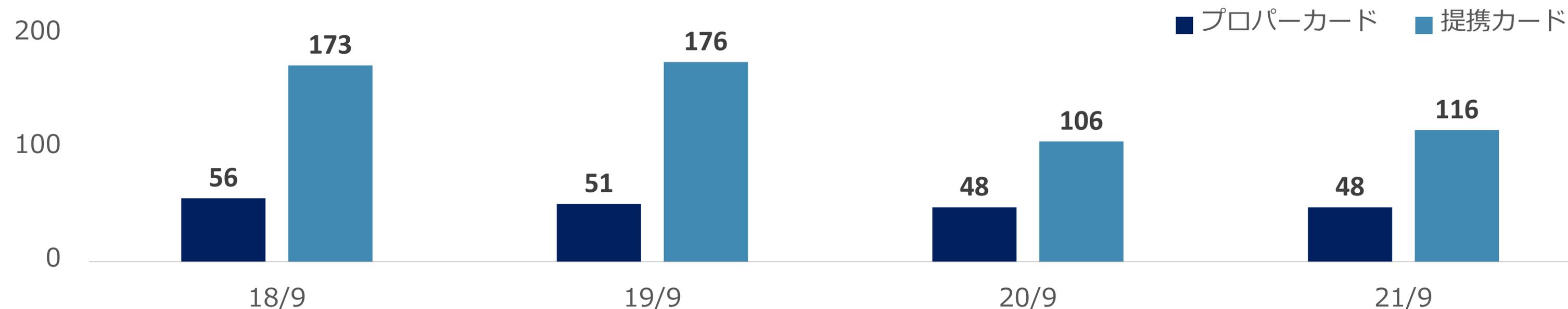


カード発行状況

・法人提携含め、提携先の拡大が進んでおり、提携カードの新規発行枚数は前年同期比9.0%増の116千枚

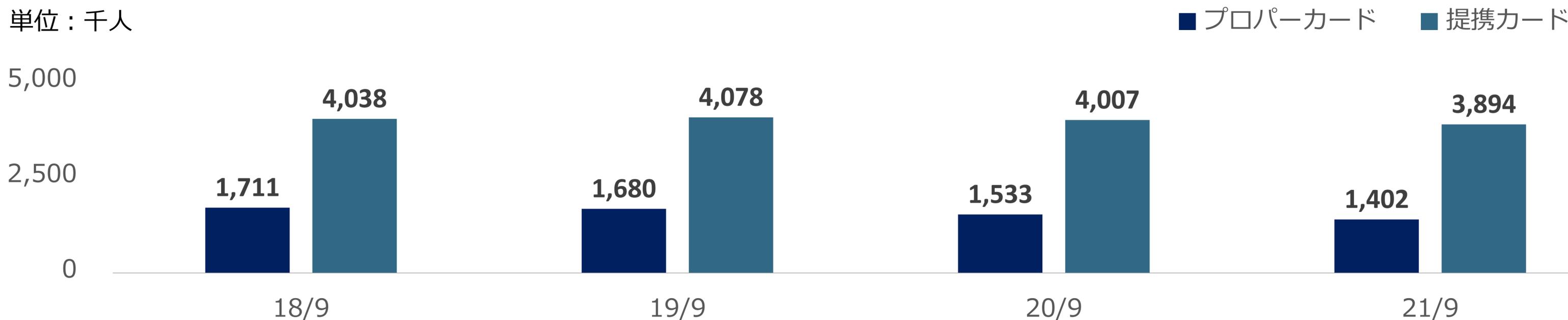
【新規発行枚数】

単位：千枚



【有効カード会員数】

単位：千人





IV グループ各社の決算概要

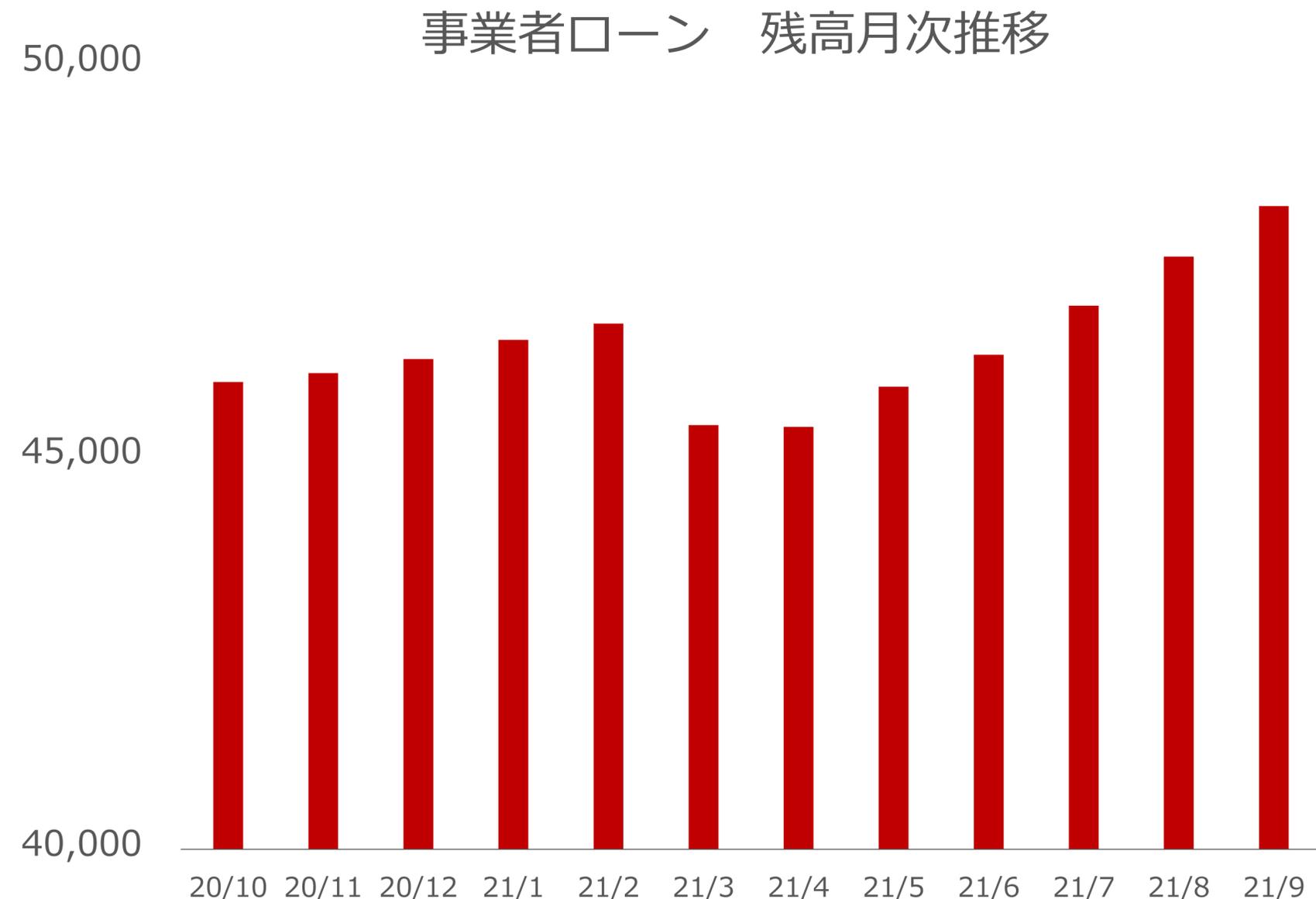
グループ各社の決算概要 アイフルビジネスファイナンス

- ・診療報酬等担保ローン事業のAGメディカル分社化による有担保ローン債権残高減少の一方、新型コロナの影響による事業者ローン残高の減少は底打ちし回復基調
- ・営業利益は貸倒関連費用、広告宣伝費の増加を主要因として前年同期比35.0%減



単位：百万円

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	59,403	53,154	-10.5%
有担保ローン	14,311	6,210	-56.6%
事業者ローン	45,091	46,943	4.1%
口座数 (千)	26	25	-4.4%
営業収益	3,368	3,178	-5.6%
営業利益	1,673	1,087	-35.0%
経常利益	1,686	1,094	-35.1%
当期純利益	1,051	673	-36.0%



※診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継しております。



グループ各社の決算概要 AGメディカル

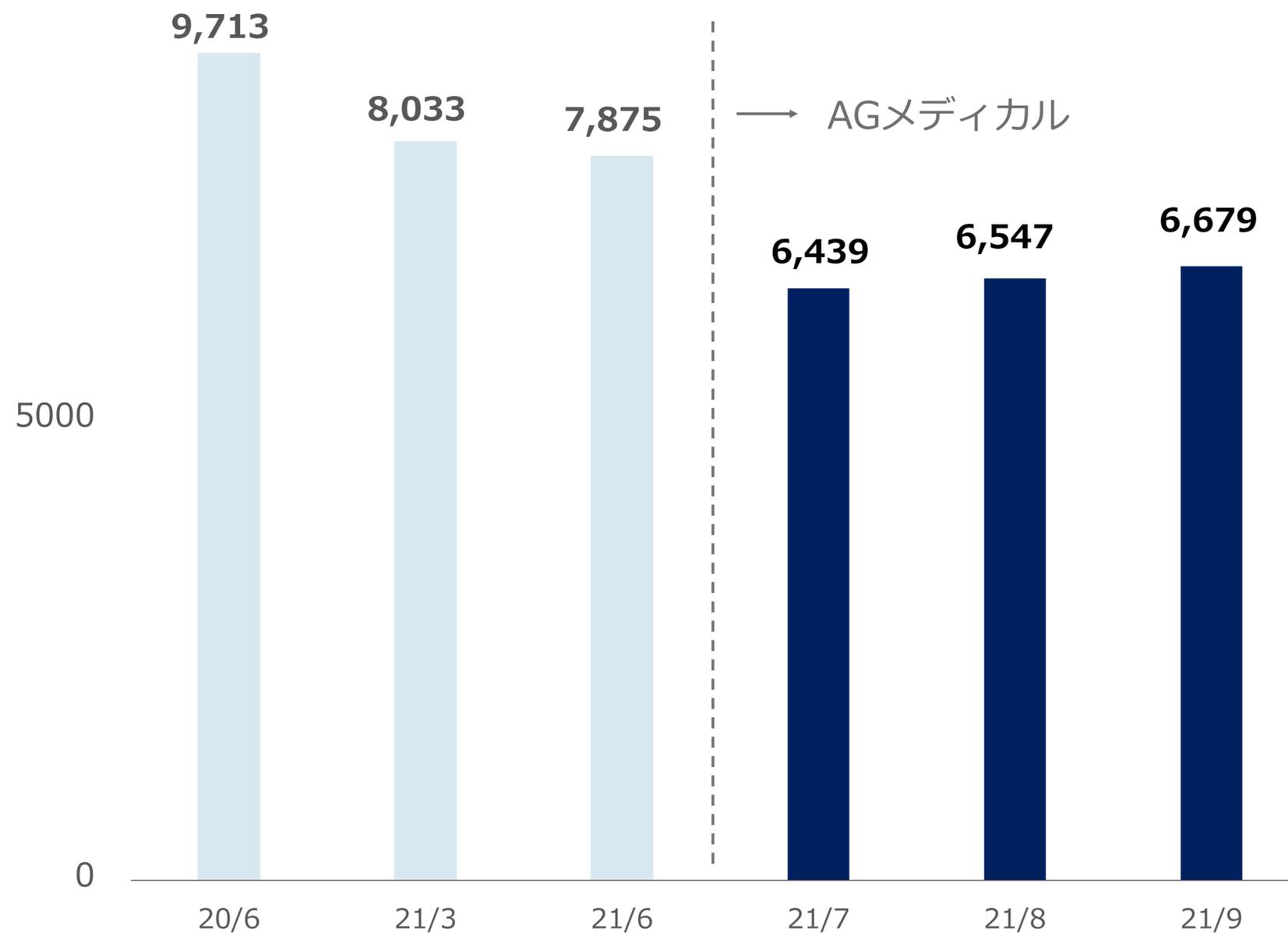
- ・アイフルビジネスファイナンスより診療報酬等担保ローン事業を分社化し、21年7月より事業開始
- ・営業債権残高は新型コロナ影響を受けるも7月以降は回復傾向

AG MEDICAL

(単位：百万円)	21/9
営業貸付金残高	6,679
口座数 (千)	377
営業収益	146
営業利益	60
経常利益	60
当期純利益	39

単位：百万円

診療報酬担保ローン 残高月次推移



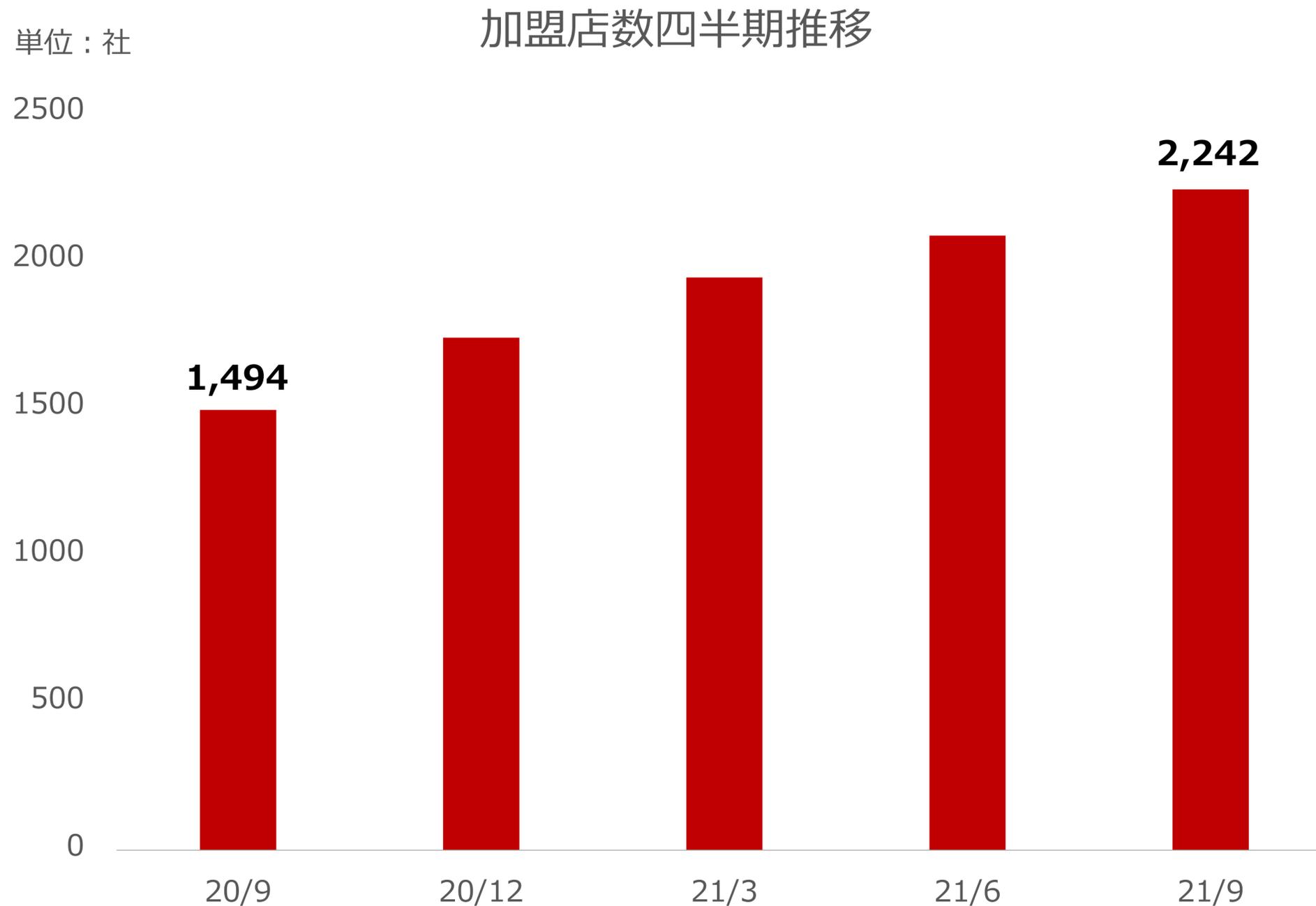
※2021年6月末まではアイフルビジネスファイナンスの営業債権として計上されています。
 ※2021年7月以降は解約債権ならびに一部商品を除き、AGメディカルが承継しております。

グループ各社の決算概要 アイフルギャランティー

- ・アイフルの有人店舗の営業組織化に伴う営業活動強化の効果もあり、割賦売掛金残高、加盟店数は順調に推移
- ・買上、残高規模拡大により大幅な増収増益



(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比 増減率
割賦売掛金残高	6,493	11,023	69.8%
支払承諾見返	184	157	-14.5%
営業収益	354	587	65.6%
営業利益	116	251	116.0%
経常利益	117	251	114.2%
当期純利益	76	160	109.4%





グループ各社の決算概要 AGミライバライ

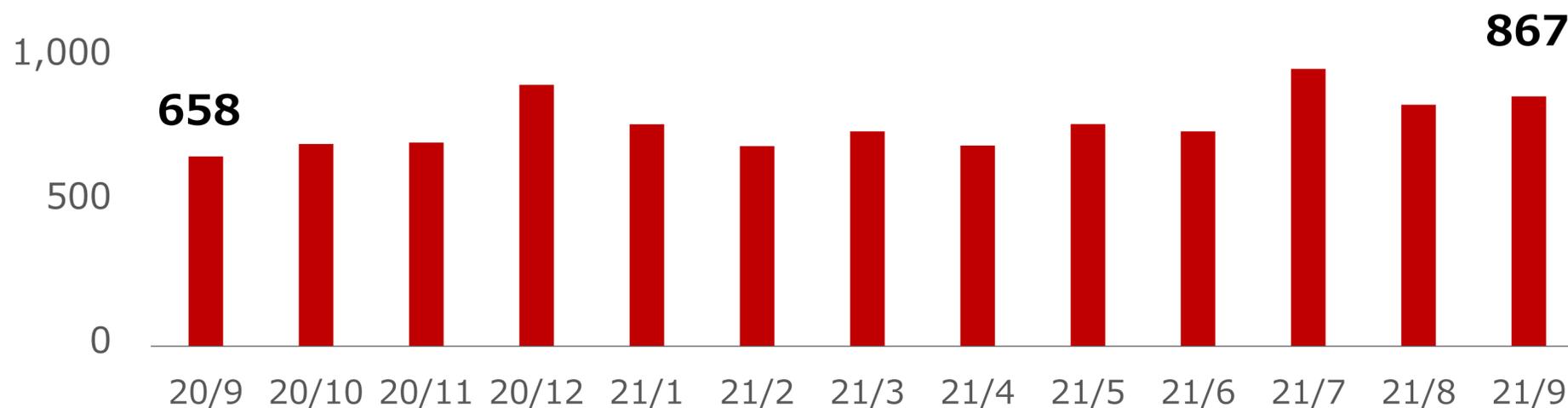
・加盟店数、買上額の増加に伴い、営業収益は前年同期比56.4%増の278百万円



(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比 増減率
買上実績	4,067	4,879	20.0%
営業収益	178	278	56.4%
営業利益	-94	-93	-
経常利益	-94	-93	-
当期純利益	-81	-86	-

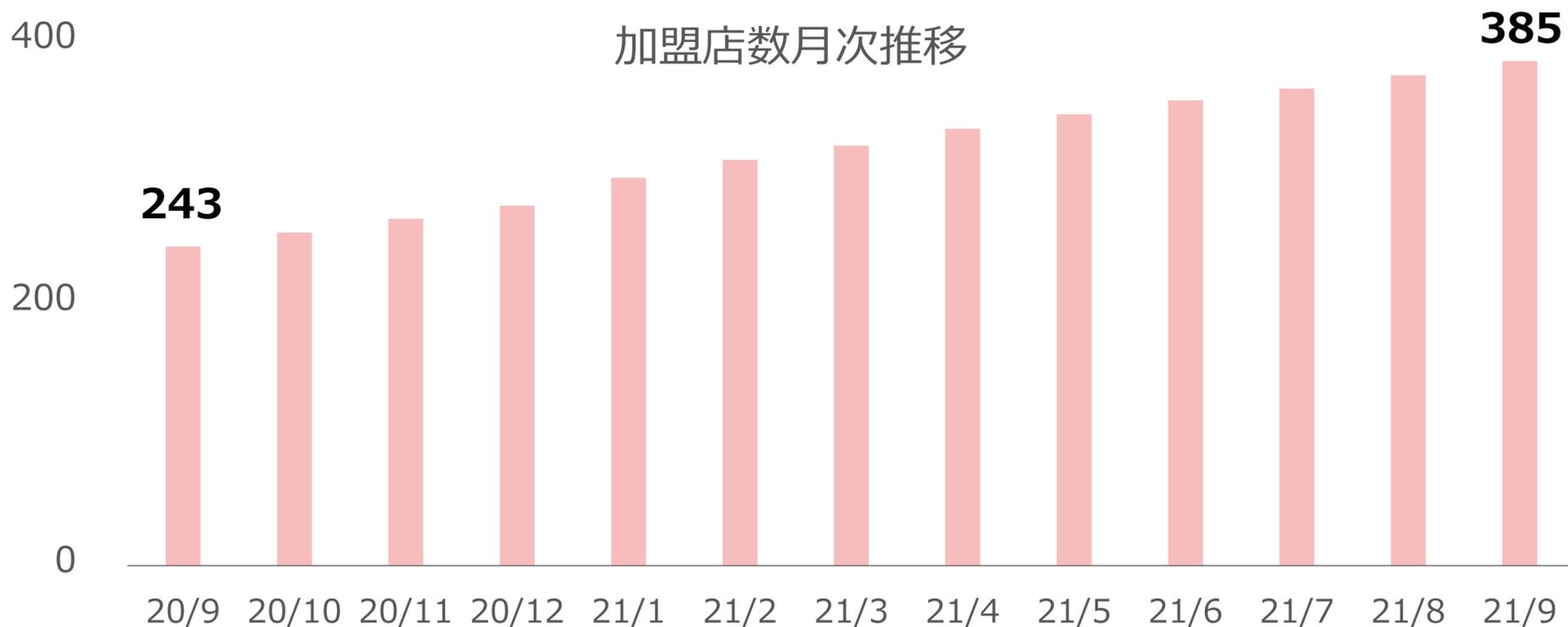
単位：百万円

月次買上推移



単位：千社

加盟店数月次推移



※AGミライバライは2020年6月1日に設立し、事業を開始しております。
 ※2020年5月以前の買上実績はライフカードにて計上されています。



V 參考資料



営業収益・営業費用【連結】

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比	
			増減額	増減率
連結営業収益	63,462	64,837	1,374	2.2%
営業貸付金利息	37,066	37,523	457	1.2%
信用購入あっせん収益	9,454	9,530	76	0.8%
信用保証収益	7,400	7,774	373	5.0%
買取債権回収高	729	462	-267	-36.7%
償却債権取立益	3,366	3,747	380	11.3%
その他の営業収益	5,445	5,799	354	6.5%
連結営業費用	54,084	54,907	822	1.5%
金融費用	3,632	3,572	-60	-1.7%
債権買取原価	517	-	-	-
貸倒関連費用	19,684	19,208	-476	-2.4%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	4,163	6,804	2,640	63.4%
広告宣伝費	1,304	5,321	4,017	308.0%
販売促進費	2,859	1,483	-1,376	-48.1%
人件費	8,439	8,399	-39	-0.5%



営業費用・利益【連結】

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比	
			増減額	増減率
その他営業費用	17,561	16,805	-756	-4.3%
支払手数料	7,297	7,622	325	4.5%
通信費	1,419	1,492	73	5.2%
ポイント引当金繰入額	1,186	-	-	-
消費税	2,254	2,532	277	12.3%
減価償却費	1,628	1,603	-24	-1.5%
消耗品費・修繕費	1,388	1,206	-181	-13.1%
地代家賃	894	880	-13	-1.6%
賃借料	187	204	17	9.2%
営業利益	9,378	9,930	552	5.9%
営業外収益	1,093	292	-800	-73.3%
営業外費用	98	366	268	272.2%
経常利益	10,373	9,856	-516	-5.0%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
税引前利益	10,281	9,856	-425	-4.1%
非支配株主に帰属する当期純利益	-178	106	285	-
親会社株主に帰属する当期純利益	9,812	10,042	230	2.3%



決算概要【アイフル単体】

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	39,206	40,861	1,654	4.2%
営業貸付金利息	29,678	31,083	1,405	4.7%
信用保証収益	5,665	5,635	-29	-0.5%
営業費用	33,241	35,135	1,894	5.7%
金融費用	2,675	2,718	43	1.6%
貸倒関連費用	15,285	15,060	-225	-1.5%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	3,167	4,781	1,614	51.0%
広告宣伝費	1,168	4,631	3,462	296.3%
販売促進費	1,998	150	-1,848	-92.5%
人件費	5,139	5,058	-81	-1.6%
その他費用	6,973	7,517	543	7.8%
営業利益	5,965	5,725	-239	-4.0%
営業外収益	882	675	-207	-23.5%
営業外費用	43	202	158	362.7%
経常利益	6,804	6,198	-605	-8.9%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	91	-	-	-
当期純利益	7,194	6,359	-835	-11.6%



営業実績【アイフル単体】

(単位：百万円)	20/9	21/9	前年同期比	
			増減額	増減率
営業債権残高	550,024	592,705	42,681	7.8%
営業貸付金残高	426,950	446,352	19,402	4.5%
無担保ローン	413,696	434,245	20,549	5.0%
有担保ローン	5,762	4,079	-1,682	-29.2%
事業者ローン	7,491	8,027	535	7.2%
信用保証残高	115,195	138,403	23,207	20.1%
新規顧客数（件）	66,615	99,154	32,539	48.8%
無担保ローン	66,580	99,106	32,526	48.9%
口座数（千件）	917	947	30	3.3%
無担保ローン	905	936	30	3.4%
営業貸付金利回り	14.4%	14.5%	0.1pt	-
無担保ローン18%以下残高占有率	99.0%	99.2%	0.2pt	-
貸倒発生額	12,182	11,826	-355	-2.9%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	11,762	11,442	-319	-2.7%
貸倒償却率	2.2%	2.0%	-0.2pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	2.1%	1.9%	-0.2pt	-



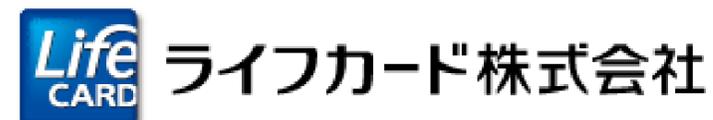
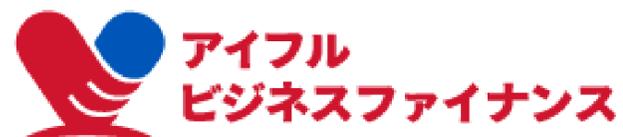
ESG・SDGs 主な取り組み一覧

ESG	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
E:環境	環境問題への取り組み	クールビズ・ウォームビズ	   
		レコロの導入	
		業務効率化への取り組み	
		エコキャップ運動	
		COOL CHOICEへの賛同	
		エネルギー使用量・GHG排出量の管理と削減	
S:社会	社会貢献・地域との共生	献血活動の推進	  
		ハッカソンへの協賛	
		社会貢献型カード	
		教育クレジット	
		SDGsに関連する事業への投資	
		大規模災害に伴う寄付金の取り組み	
		新型コロナウイルス対策支援	
	お客様のために	お客様の声のデータベース化	—
		サポート体制の確立	
	職場および労働環境	自己申告制度（意識調査）	
		ハラスメントホットライン	
		フレックスタイム制度	
		テレワーク・リモートワークの導入	
		各種社員研修と自己啓発支援	
	ダイバーシティ推進	女性活躍推進行動計画	
障害者雇用			
定年再雇用制度			
G:ガバナンス	マネジメント体制	監査等委員設置会社	
		外部通報窓口設置	
		コンプライアンス教育	



アイフルグループの事業

事業の多角化により、全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を目指します





－本資料に関する注意事項－

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。